京城日報

(年中無休刊)

本紙定價 一部參錢 一箇月七十五錢 [illegible] 廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番 振替京城三〇〇番

八月十一日夕刊 (朝刊併せて八頁)

總ての誤解を一掃
我外相の聲明に對するウ氏の見解

ウヰルソン氏は發表して曰く牧野男及び內田子は山東に對する日本の政策は一千九百十五年の日支協定の履行如何に依りて左右さるゝものとは述べ居らず余が同意を宣言せし事實を以て米政府が一千九百十五年及び一千九百十八年の日支覺書に基く政策に同意せしものと解すべからず又解すべきに非ず內田子の山東に關する明瞭なる陳述は正に總ての誤解を一掃すべきなり(華盛頓電報)

リバープール騷擾鎭壓さる

リバープールは今や軍隊哨兵に依りて包圍せられ掠奪者は警備軍に驅逐せられ罷業せる巡査の多數は復業を爲したりと(倫敦電報)

炭坑罷業惡影響

ヨークシャー炭坑夫同盟罷業は延いて各種の勞働者に惡影響を及ぼし今や勞働社會に大革命起らんとしつゝあり(倫敦電報)

瑞西の罷工熾烈

過激派の使嗾にて瑞西に於ける同盟罷工益熾烈となりつゝあり(倫敦電報)

聯國獨帝審判聲明

聯合國は飽く迄獨逸前皇帝を倫敦に於て審問すべき決心なる旨聲明せり(倫敦電報)

支那調停拒絶

米國の山東問題に關する支那政府は山東問題に關する米國側の調停條件八箇條に就き協議の結果其好意を謝するも是れに應ずる能はずとて拒絕したりと(北京電報)

陸氏和議を急ぐ

陸榮廷氏は南方急激派が八條件を固執して讓らざる爲めに和議益遷延せるを見、且自家の勢力扶植上の見地よりして斷然軍政府各派より分離し廣西を以て單獨に中央と和議を成立せしめんと計畫し既に中央と陸氏との間に該問題に對し電報の往來頻繁なるが一方更に陳炳焜氏を香港に派遣し中央代表者李鴻昌氏と密に接洽せしめつゝあり(北京電報)

對支排貨取締要求

小幡公使は六日陳外交總長代理を訪ひ各地の排日、日貨排斥運動に對し支那政府に於て速に嚴重なる取締手段を講ぜられ度しと督促せり(北京電報)

孫氏總裁を辭す

孫文氏は武人の跋扈を憤慨し七日廣東軍政府政務總裁を辭職せりと(上海電報)

和平恢復宣布延期

對獨和平恢復案は國務會議に附議したる後直ちに宣布する筈なりしが國務會議に附議討論の結果猶和蘭と接洽を要する所あり外交部より和蘭公使に商議せしむることゝなりたるを以て該案の宣布は三四日後なるべし(北京電報)

龔閣同意案提期

過日來聊か行惱の態なりし龔內閣問題は其後各方面と折衝の結果漸く兩三日中に同意案提出の見込立ちたるが如し(北京電報)

英國の對藏要求
新に支那政府に提出したる

英國公使ヂョルダン氏は先日西藏問題に關する本國政府の訓令に接したるを以て再び外交部に陳次長を訪問し西藏問題に就き本國政府の訓令に基きて左の要求を提出せり

(一)西藏版圖問題は支那側の希望に依り達希利姆會議に基きて決定す(二)西藏の自治權及宗主權問題は西姆拉會議に於ける雙方討論の結果に依りて決定す(三)西藏の獨立自治權軍隊等の諸問題は民族自決主義に基づき西藏をして自ら決定を行はしむべし

以上の如くなるが之れに對し陳次長は詳細考慮の上回答すべき旨ヂョルダン氏に對し言明せり(北京電報)

孟氏天津に向ふ

敗軍の將孟恩遠氏は十日天津に向ひたるが高士儐氏以下主戰派將士從へり(長春特電)

山東密輸鹽課税
朝鮮へ密輸出するものに對し

北京鹽務署會辦英人ガンブル氏は山東角、石島、東阜地方より朝鮮へ密輸出する鹽に對し課税實行の前提として膠州灣鹽業調查の爲此程來青種々研究の結果言明して曰く『密輸出鹽百斤に對し銀四十錢の課税實行の爲警備兵巡警等多數の配置終れるを以て近く之が實行すべし』云々(青島電報)

專管居留地運動
青島居留民外相の聲明に不滿

青島市民大會より派遣せる三名の上京委員を督勵せんが爲め日在留市民協議委員會を開き大正四年の決定を飜すが如き內田外相の聲明に反對し飽く迄既定の專管居留地を設定すべき事情を各項目に亘りて陳情すべき旨上京委員に打電せり(青島電報)

園侯新嘉坡に向ふ

西園寺侯一行を乘せたる日本郵船熱田丸は七日コロンボ發新嘉坡に向ひたる旨郵船本社に入電ありたり(東京電報)

明石臺灣總督
軍司令官を兼任せん

近く臺灣總督官制改正に伴なひ總督は武官制を廢止し親任官を以て總督と爲すに至りしより明石總督の辭任を見るが如く噂するものあるも新官制は總督を親任とすることありて文武官何れにするも可なりとの意を含み尚ほ其第四條に總督陸軍武官なる時は臺灣軍司令官を兼ねしむる事を得とあり明かに現役軍人を以て充當し得る規定なるより之が爲め總督の更迭を見るが如き筈なく總督府官制並に臺灣軍司令部條令發布と共に現總督は軍司令官を兼ぬるに至らん(東京特電)

七一聯隊出動
編成第一日は八月十二日

第五師團は此程第三師團と交代し西伯利方面に出動しつゝあるが十日勅を奉じ歩兵第七十一聯隊同留守隊の編成を令せり編成第一日は八月十二日なり(廣島特電)

遞信改制如何

總督府並に警察官署の官制改正並に廢止は內容既電の如く文官々制改正に就てもその主要點は傳へられつゝあるも遞信局に就ては何等の報なきが素より官制と共に遞信局長官は局長となるべく又局內の組織についても相當の改制實施する事ならんと觀測さる

大阪商況一束
護山生

◎關東呉服多物は例年産地に於ては六、七月の交より買入開始せらるゝに本年は流行屋筋にては四月頃より買入れに着手し隨つて各地方得意先との取引も例年本月中旬以後より行はるべきに本年は先高を豫想せる過ぐる本年二月冬物の終末期に於て相場の激落こにより何れも買入れを見合はしたる結果多物手持品は頗る僅少なるより一層買氣を促進して地方一流筋の賣商は早くも過る六月頃より仕入に着手し既に市價に照合して幾分かの利益勘定となり居れる模樣なるが多數の取引は舊盆節季後にて昨今の相場を昨年に比すれば概して三割方の高値を呈し然も地方の購買力は依然旺盛にして高値商品も何等の懸念なく消化せらるべく氣構へられ居れり

◎石炭は一時下落炭が稍押し氣味なりしも何分需要減退せざると出炭額漸減の姿なるに加へ殊に若松地方に於ける最近仲仕人夫の賃金四割増しを要求せる等勞働賃金は益々昂騰の傾向なれば一般に氣配強硬となり現在の石炭市價は前月初旬に比し品質に依り一萬斤に付十二圓乃至二十圓高を呈し目先一段の昂騰を告ぐべき形勢なり

◎歐亂結局以來頗る波瀾曲折に富し本邦染料製造販賣業者の近狀は彼の休戰條約成立後獨逸染料の輸入と米國染料品の大輸入說とに脅かされ一時混亂狀態を呈せし結果染料藥品商の破綻續出するに至り此情勢は忽ち製造業者に波及し基礎薄弱なる染料製造業者は將棋倒しの有樣にて工場を閉鎖し或は作業を休止するに至れり

◎染料藥品輸入商は可及的に先約註文品を解約して損害額を尠少ならしむべく努めたれば少額宛の在庫品は必需筋によりて消化せられ物によりては品不足を告ぐるに至りしが米國市場に於ける染料製産額增加に伴ふ前途安を見越して買付を躊躇し一時の補給策として內地製造業者に註文を發し來れる結果昨今は內地各染料工場とも何れも全能力を發揮して製産に從事せる狀況なり

◎昨今冬物品の染料需用期接近し來れる爲め相場も漸次昂騰し取引相當に行はれブラック及びアリツの類は何れも相當反撥を示し獨逸品が當分輸入の見込みなきこ瑞西品も製産費昂騰にて相場著しく締り米國品は註文至つて少量なれば尚一段の昂騰は免れざるべく本邦製造販賣業者は何れも目先活況を見越し居れり

◎建築界は近年住宅其他の建造物不足のため新築せられ或は既設建物の改築せらるゝ筈斯業は著しく殷賑を呈し建築業者は何れも相當の工事を請負はざるものなき有樣にて頗る好況に見受くるも其反面に於ては木材其他の建築材料は漸騰の姿なれば工事成績は概して優良ならざるに今後益々材料昂騰の氣勢あり當業者も請負金額の算定に苦み請負手控への有樣なり

◎肥料は目下不需要期なるも米價高を初め農産物の騰貴により農家は懐合ひ豊富となり肥料購買力著しく增加し居れるにより先高見越旺盛にて地方の買進み頗る盛なりて過燐酸肥料及び硫安はヂリ高の成行きを示せるが豆粕は當月物六圓十錢九月限六圓二十錢と引締を呈し硫安は十月物三百二十圓米國物二百八十圓英國物二百七十五圓見當の唱へなり

◎燐寸は支那の買付け減切り減退せしも支那以外の各海外需要地よりの註文相當に殺到せるこ一方內地向きは舊盆前の仕入期に加へ諸原料の再び上向き來れる等にて近日氣配を昂め凡そ五圓方の値上となりたるが製造家としては原料高のため利潤多からざれば市況も漸次硬調となりて活況を呈すべき形勢なり

電信係長會議
電信當務の希望
矢野遞信事務官談

遞信局にて開會中なりし主要局の電信係長會議は九日終了せしが右につき矢野遞信事務官は曰く電信係長會議は電信

事務の敏活 處理を圖りその速達を期する上に於て今後有形無形に效果多かるべし會議席上係長の一般に對し宣傳を求めし主要點は(一)夜半以後に來信せる電報の配達はその手渡までに多くの手を要するを常とす乃ち先づ電話ある家には電話をかくる如き又は電報送達の際受信人の家の戸締につき相當方法をこる如きその他色々の手を盡すも然も容易に送達し得ず漸くにして送達すれば受信人よりは反つて

深夜の配達 不足を訴ふるものあるの實況なり故に至急電報の外は夜半以後の着信を翌早朝に讓るか若くば各戸に電報受箱の設備を希望す(二)宛名の餘りに御念の入り過ぐるあり乃ち長崎縣長崎市と云ふが如き山口縣周防の國と云ふ如きこれなりか、るは郵便局に於て適當に省略し得るも初めより公衆に於て相當省略せられたし(三)朝鮮には地名に間違ひ易きもの少からず例せば鷄井をこりゐと呼び水原をみづはらとなし大田をおほたと呼ぶ如きこれなり

地名の稱號 違ひは內地でもあれど朝鮮には殊に多し電報の速達上障碍を來す事少からず又內地の福島縣若松市と福岡縣若松市は均しく若松にて間違ひ易し注意を求めたしと云ふが如きものなりき

朝鮮平北鐵道出願
江界孟中里間百六十七哩
朝鮮産業鐵道との競願線

所謂三井系統に屬する大橋新太郎、山本悌二郎、和田豐治、益田太郎、飯田義一、原鐵三郎、藤原銀次郎、荒井泰治、義州崔鳳淳氏等九名の發起に係る朝鮮平北鐵道株式會社は八月十日附總督府に設立許可の申請書を提出せり同社は資本金一千萬圓を以て京義線孟中里驛(新安州驛の隣驛にて淸川江北岸に在り)を起點とし博川、雲山、寧邊、熙川を經て江界に至る一百六十七哩間に鐵道を敷設し且つ既に設立許可を受けたる朝鮮森林鐵道の長津、滿浦鎭間の中央に位する江界に於て連續し以て厚昌、長津、慈城方面の木材輸送に從事する外、一般貨客の運輸を營まんとするものなるが同社は新義州に本社を有する朝鮮製紙會社と同系統にして同社製紙の原料たる木材の運搬が夏期四五箇月の外作業不能なる流筏中常に採木公司側と爭鬪絶えざるより輸送の迅速と圓滑を期する爲本鐵道を敷設し木材運搬の傍ら貨客の輸送に從事せんとするものなるが同社は本線の外、新義州より獅子島に至る二十一哩間にも鐵道敷設の計畫あり共に許可の申請を爲し居れり然るに江界、孟中里間、孟中里温井里間は既に朝鮮産業鐵道會社代表者藤山雷太氏により出願されあり且つ産業鐵道に於ても江界迄延長の意志なる旨鐵道局に具申し居るが故に一部の競願は遂に

全線に亘る競願 となりたる次第にして總督府にては目下之れが審議中なれば近く何れか設立許可の指令を見るに至るべく本線は平安南北の京義線沿線より平北の奥地江界に森林鐵道を經由して鴨綠江岸滿浦鎭より間島通化縣に通じ、又一線は長津より惠山鎭、新乫坡鎭の附近なる厚州古邑に通ずる唯一の交通路にして本線完成の曉は平北は素より間島

各地の交通、地方經濟 に多大の影響を與ふるなるべしと

黄海平野旱害
益々甚大となる

黄海道の旱魃は屢報の如く激甚につき當局にては旱害地方に對し極力雜耕穀草その他の豫防方法を獎勵中なれど飲料水さへ不足を訴ふる狀態にて路傍の雜草さへ枯死するものあり粟その他の畑作は益々不良の狀態にあり水田は延州釜津長淵松禾の四郡は收穫皆無安岳信川載寧三郡の一部も亦皆無に近く僅かに鳳山方面のみ平年作に近き有樣なるが被害面積は日々増大し既に一部小作人逃走の徴さへ見ゆるに至りしかば此儘旱天連續する時は其慘害は寒心に堪へざるべしと

鮮滿通貨膨脹

十一日の朝鮮銀行券は發行高一億一千三百萬圓に達したるが之れ昨年の最高記錄たる一億一千五百餘萬圓に接近し來れりその新記錄の發行高を示すは近かるべしと

東亞新募入決定

東亞煙草會社にて客月末公募したる同社新株はその後本社にて募入に關する調査進行中の所十日愈決定せりと見て同日當地鮮銀へ一般宛額の三行に電報ありしが右によればプレミアム三十四圓六十錢以上全部募入三十四圓五十錢は一部募入とあり尚一萬四千の公募に對し京城にて三十圓以上一萬七千株を應募せしは事實につき公募株の殆んど全部を京城に占取せし形となりたる如し又釜山に於て三十八圓五十錢のもの五千ありとの說果所に通報ありしも右は何等かの間違ひなりしもの、如く更に東京大阪に於ては存外プレミアム低かりしらし是れ事業の實質內地に知了されざるにあるべきかと云ふ同新株平均プレミアムは三十四五圓所につき中値はその邊ならん

內野中將出發
騎兵半小隊儀仗

龍山旅團長より宇都宮留守司令官に榮轉せる內野辰次郎中將は十一日午後七時五十八分龍山驛發列車にて家族同伴赴任の途に就きたるが森騎兵小尉の指揮する騎兵半小隊は官舍より驛まで儀仗し在龍山歩兵第四十旅團の將校は驛前より郵便局前に亘り堵列し其の行を送り又驛には將校及び同夫人知己多數見送れり中將は十二日午後六時釜山港解纜の御用船高島丸にて出發すべしと

東條大塚東上

總督府附武官東條明次及び參事官大塚常三郎の兩氏は十日夜發東上の途に就けり

前田大佐出發

關東憲兵隊長前田大佐は十日午後十一時南大門驛發列車にて北行赴任の途に就けり驛には古海總務總長各部局長官其他官民多數の見送り盛んなりき

理事次長來城
滿鐵

京管局職制改正に關し總督府との打合せの用務を帶び松本理事大倉公望の兩氏は來る十五日來城數日滯在の中京管局を視察し上京すべしと

佛教授一行通過

佛國リヨン大學教授ジョビン氏一行は十日午前九時二十分南大門通過奉天に直行せり

◎長野氏嚴父訃 木浦新報主幹長野虎太郎氏嚴父伊太郎氏は長らく病氣中の處九日未明死去せり葬儀は十日午後六時東本願寺に於いて執行さる

人事消息

▲東條明次大佐(總督附海軍武官) 十一日朝釜山通過東上(釜山特電)
▲田中之雄氏(總督府事務官) 島嶼狀況調査の爲め九日附全羅南道木浦府、靈光、珍島、濟州、莞島の各郡島へ出張を命ぜらる
▲小倉新平氏(總督府編修官) 公立普通學校朝鮮人敎員講習會臨席の爲め八日附全州へ出張を命ぜらる
▲湊槌次郎氏(總督府技師) 保留鑛山探鑛事務監督の爲八日附慶北尙州郡に出張を命ぜらる
▲牧山正德氏(同) 石炭、木炭、薪材に關する燃料等調査の爲九日附黄海、平南北、咸南北管內へ出張を命ぜらる
▲田中廣吉氏(總督府視學官) 內地人敎員講習會臨席の爲九日附全南光州に出張を命ぜらる
▲新田留次郎氏(總督府工務課長) 十一日夜出發平壤方面へ出張、五六日中歸任の筈
▲伊木步兵少佐(師團高級副官) 九日夜義州へ
▲吉澤步兵大尉(師團副官) 十二日發平壤へ
▲佐藤恒丸博士(陸軍軍醫部長) 馬山に轉地療養中漸次快癒に向ひ近く歸城すべし

財界閑話

▲新制度の滿鐵京城管理局長には運輸課長の安藤又三郎君が就任するらしい▲人物から云つても經歷から見ても局內に局長を求むれば君に白羽の矢の立つは當然であらう▲君はスーボー式でドコこなく大きい所があり、肚もしつかりしてゐれば肌合も淡々たる所がある、現代的の神經質な點はドコにも見ゐぬ▲所謂敏腕家にあらずとするも統領の材であり、人の上に立つ德も見てゐる▲鮮鐵から滿鐵に行た三老の內先頃の改革で三木老は吉長線に行き、附田老は退社を命ぜられ、構井老も會社を退いたと云ふ事であつたが、老は尙ほ在職中だとの事である▲近く京城に來る滿鐵總務部法學博士松本烝治君は法制局參事官兼東大教授より滿鐵に入つた人だ▲博士は商法と保險法の大家である、君の名の汎く聞ゑたのは大隈內閣時代政府より簡易生命保險法を議會に提出した時▲君は政府委員としてその說明に當り上下兩院議員の質問に對し花々しい說明をした辯舌と態度にある▲男らしい人ださうで、その男らしい所に獨逸留學時代獨逸美人よりにくからず思はれたと云ふ艶話もあるさうだ

男女共に心得べき
挨拶の仕方
▲挨拶、儀式、對話法其他交際上の心得を詳述す
▲社交の秘訣 世間一般の挨拶の仕方や儀式の心得を知らない爲に恥をかいたり途方に暮れたりして居る人が澤山ある。本書は時候の挨拶より婚禮、出産、招待、訪問、入營、葉書、祝宴等一般の喜び事の場合又は死んだ時病氣の時其他世間百般の挨拶の仕方答辭の仕方夫に就ての儀式對話法訪問者の心得等を詳しく述べ尚祝儀、香奠の包方其の他和洋服の著方、和洋食の食い方に至る迄詳細を盡す他に男女萬人必備の良書なし尙附錄として社會百般

即座演說集 あらゆる御席演說を集め何人にも應用自在也
定價一圓廿錢の處千部限り
特價金八十錢 こす希望者は注文次第代金引換郵便に送る(前金注文は送料共八十六錢)
東京青山南六ノ八 振替東京二七四七三 有教社

永井寛龍 新義州府□町 電話二七〇番

一、兩口スパナー外貳拾點
右購入ス詳細ハ八月十一日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

角形石鹸元祖
浦本工場
京城 電話二二九四番 振替二三九番

東京三金の靴

ボックス革編上 一號四圓五十錢 二號五圓五十錢 三號六圓五十錢 四號七圓五十錢
ボックス革變化 一號四圓五十錢 二號五圓五十錢 三號六圓五十錢 四號七圓五十錢
ボックス深ゴム 一號五圓五十錢 二號六圓五十錢 三號七圓五十錢 四號八圓五十錢
御注文の節は靴の種類と足の文數通知あれば代金引換小包送料實費にて御送附申上べく候
▼革見本寸法用紙付目錄進呈
▼卸賣御希望の向は特別割引便宜御相談に應じ申べく候
東京市芝區愛宕下町
三金高等靴店
電話芝六九〇 振替東京一七二二三

穀物、海産物、絹毛緞、布木、紙物、皮物其他
內外貿易並に委託賣買
釜山府大倉町八ノ五
主一商會
電話三四五番
主務 崔碩武 孫永詢

米國グドリッチ會社製
自働車及自轉車用タイヤ及チユーブ各种
在庫豐富、價格低廉、取扱親切
御注文次第何時ニテモ迅速積出
仁川海岸町
ベンネット商會

サンエス萬年筆の定價改正
近時連續的に行はるゝ勞銀の引上は一般製品の價格を騰貴せしめずには置きません我がサンエスも此自然的法則を免るゝ事能はず下記の通り定價改正の餘儀なきに至りました而かも此引上額を他品に比すれば尙且つ至廉を誇るに足るものがあります
S.S.S.
改正定價 八月三日より實行
壹號 金貳圓也
貳號 金貳圓五拾錢也
參號 金參圓也
▲四號金貳圓卅錢▲六號金參圓卅錢▲七號金參圓五拾錢
大正八年八月三日 東京サンエス萬年筆本舖
關西代理店 大阪東區瓦町 澤井幸助商店

輸入元 釜山大倉町 ミトヤ商店
芳醇 ナイアガラ ウヰスキー
米國ナイアガラ釀造會社(元詰)

謹啓時下益々御清祥奉大賀候陳者不肖儀多年深厚なる御交誼御引立を蒙り難有感謝此事に御座候就ては今般業務上の都合に依り內地本店居所を移轉し當支店も大阪支店へ併合し當地を引揚ける事に致し候間不相變倍舊の御愛顧を賜り度奉懇願候 尙店主當地出發之際は御繁用中忽々御見送り被下難有御禮申上候先は御挨拶迄如斯に御座候敬具
追而弊支店の殘務は本店に於て取扱ひ候間御用向の御方は廣島市塚本町四十八番地吉野商會へ御照會被下度申添候
大正八年八月九日
廣島市塚本町四十八番地
吉野商會主 吉野萬之助
京城府南大門通二丁目百十六番地
吉野商會京城支店

虎疫に效果ある ワクチン注射
軍隊でも滿鐵でも實施

滿洲に於る虎疫防止の手緩い結果として朝鮮に侵入し京城に一名、安奉に一名の虎疫患者を出した事は返すぐも殘念の至りである、侵入した以上は各自々衛の道を講じて之を猖獗せしめないにある、大正五年我が朝鮮では既に苦い經驗を嘗めた事であるから再び繰り返し度くない、官民協合是が防疫に盡さねばならぬ、虎疫發生に關し軍隊や滿鐵では如何なる手段を執らうとする乎

百萬の敵より怖しい
第二十師團長 淨法寺中將談

滿洲に猖獗を極めて居るふむ、虎疫が朝鮮に侵入しては一大事だと君と話合つた計りぢやつたが、もう京城に發生した、市民の警惕は云ふ迄も無からう、

大に警戒を要さねばならぬ わが軍隊でも自衛の道を講じ一名たりとも患者を出すやうな事はしないが、何と云つても分散配置してあるから憂慮に堪へぬ 陛下の赤子を虎疫で斃したとあつては申譯が無い、此の際徹底的防疫に從事すべく既に軍醫部に對し防止案を作成せしめてゐる、軍隊では平常から暴飲暴食を警め胃腸の健康を圖つてゐるが更に是れを徹底せしむると同時に部下將卒に對しワクチン注射を實施する決心である、百萬の敵が襲來するよりも京城に虎疫が發生した事は恐ろしい、軍隊計りでなく一般に是が防止に腐心され度いものである

命惜くば必ず注射を
師團司令部附 永富一等軍醫談

御覽の通り虎疫防止策を今認めてゐるやうな次第で師團長の諒とが是で良いと許されたら直ちに各隊に命じ實行させる考へである、虎疫は云ふ迄も無く口から入る病氣であるから、煮沸したもの、外一切食べさせないやうにするのと蠅の驅除に努力するにある、又胃腸を弱らせて置くと兎角虎疫に罹り易いから暴飲暴食を警め寢冷せぬやう極力注意し各隊に對しワクチン注射を實施せしめようと思つてゐるワクチン注射は殆んど**反應が輕く**腸窒扶斯豫防注射の様に熱發しないワクチン注射をして置けば假令虎疫に罹つても輕微で濟み死ぬやうな事が無い其の効果は死亡率の渺いので證明されてゐる、軍隊計りで無く虎疫發生の地方では總てがワクチン注射をして置く必要がある、又虎疫菌は**酸性の物**に對しては極て抵抗力が弱いから梅干しとか稀鹽酸レモナーデとかの類を用ゐて居れば先づ安心である併し稀鹽酸レモナーデが虎疫に良いからと云つて是を多量に飲用すれば胃腸を害するから適當に用ゐなければならぬ、嘗て東京に於て虎疫流行の際**梅干が良**いと云ふので非常に騰貴し梅干成金が出來た事があるが此の際梅干を占むるやうな考へを持たず梅干を安く提供して一人も多く虎疫患者を出さないやうにして貰ひ度いものである

強制的に注射 旅客に接する現業員に
京城管理局 大内經理課長談

滿鐵京管局でも總督府と協力し虎疫を國境で防止し一歩も朝鮮に入らしめまいと苦心してゐたが其の甲斐なく京城に患者を輸入した事は甚だ遺憾である、大連のやうに海港檢疫でも出來る處なら檢疫して**帶菌者を驅離する手段**もあるが列車の旅客に對してはさうも出來ないから列車專務なり列車ボーイをして旅客に周到なる注意を拂はしめ顏色の惡いものを見たら警察醫に診斷せしむる方法を取つてゐる、此の際疑はしき患者に對しては**早期發見**に努めさせるより手段が無い又列車内は飲料水の檢査を行ひ列車内の清潔便所の掃除等にも十分なる注意を拂ひ萬遺憾無からむ事を期して居る又特に新義州驛では旅客に接する現業員に對しては**強制的に**ワクチンの注射を實施する考へで既に藥品を送附した此の儘終熄するならば幸ひだが猖獗の兆があれば各驛でも旅客に接する現業員に對しワクチン注射を強制執行する考

眞正こ決す 安養の患者
昨紙所載安養に於ける疑似コレラ患者は細菌檢査の結果十日午後五時眞正コレラと決定したり

連絡船に疑似患者 十日朝釜山出帆の博愛丸
十日朝釜山を出港したる聯絡船博愛丸は同日午前五時四十分釜山發列車と聯絡し貨客を搭載したるが右列車は途中に於て虎列拉の疑ひある病人を生じ時節柄警戒の要あるを以て同船は十日夜六連島に立ち寄り乘客の豫防檢査及消毒を行ひたる上十一日朝下關に入港したり(下關電報)

丑道沿岸汽船行脚 仁川を振出
晉州丸にて 京 魚 生

汽車より汽船……釜山を打止の大興行……低氣壓の留守を狙ふ……移民ソツクリ……晉州丸に乘船す

暑熱や何處ぞ

思ひ立つたが吉日さは、舊い言葉の隙だが、新しく使へる處に此の言葉の命があり、又價値の存する處である。扨て此の暑中には何こする、短い時日を如何に利用して

避暑と智識の 一擧兩得の方法 こがなさ、九十五度の熱氣にふミ參りかけた腦味噌を、無理から絞つてやつミ考へ付いたのが此の行。此一週間を海上生活に送るミ云ふ。われながらの妙案。元來が海育ちなれば、汽船は汽車よりも結構、こは云ふものの唯の海上生活も無意義なり、何時かの議會に朝鮮西海岸航路の問題が出た時、聞ふ人も答へた人も

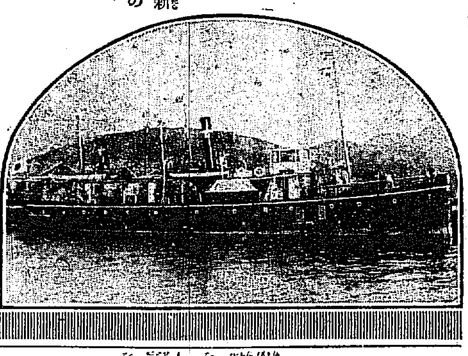
少々頓珍漢の こころ妙からず 實際を押しのけて、勝手な議論も、要するに之れは未だ實地調查の御ヾ足こあらは敢てこがむるに非ず、而し其不足を世間が、何ども云はず其通りで通すのは聊か世間をミがめざるべからずミ一々理窟捻つて。さなれ『仁川をふり出しに忠南、全南、全北、慶南の沿岸を汽船行脚こ洒落、西南沿岸をぐるりミ一周釜山で打ち留の大興行、船ぎらいの諸君が見れば

何んの醉興と 早や鼻をつまむか知らねど、拙者の爲には之でも大洒落の避暑で御座る、兎に角物事は新趣興に限り申す、數日來の天候不順、低氣壓は朝鮮海峽から東北に進行、江原、咸鏡の方面に進みつゝありとも情報を得、然らば拙者は其裏をかつて、低氣壓の留守を狙つて愈々此の行に上るミ云ふ奇策。妙計は朝郵の山內君に依て充分に計畫された、八月五日午後七時南大門驛發仁川行の列車に飛び乘るミ殿つ

悉皆旅心地に なつて、晚酌の一杯機嫌にうつらくこ眠れば早や凹峴驛なり、浴衣かけの身輕な旅裝に革鞄こ毛布を兩手に抱へて築港へミ急ぐ、失敬ながら移民そつくり、路傍の車夫迄か一瞥したのみで、敢て乘まぬかミも云はざるは、吾ながら聊か心細し。行く程に急ぐ程に最う汗は脊を濕して、僅かの夜風は凉しくもなし、之だから陸上は不可ないこ、すつかり海上通こなつて

辛ミ築港堤上 を辿つて晉州丸に乘船、迎へて呉れた朝郵仁川支店の飯島君こ、久闊の御挨拶やら、昔話やらで賑つて居るこ事務長、機關長もやつて來る、古賀船長の黒い顏も現はる、、門出を祝ふ熨斗昆布ではなく、林檎こ麥酒で大いに乾盃をやつて、午後十一時豫定の通り、機嫌好う、有り難ふミ、船こ陸こで挨拶する中

ボーと頭の上 で出帆汽笛が鳴る、靜かな夜を破つて機關の響きが起る、船は徐に動き出した。閘門を出るミ小月尾の燈臺は星の瞬きの様に、何かを暗示するかの様に、ピカリ、ピカリミ輝く、海港を破つて遂に八尾島の燈臺も、呑氣な様に合ひ間を置いてピカリこやる、滿天水の如く澄み半月は凉しく光を落す、船側に碎くる金波銀波の風情、最う夏は何處こも知らず



內務省の 代用食獎勵 各府縣に講師派遣
內務省にては今回各地方長官に對して混食代用食に關する通牒を發せるが更に是れが獎勵策として近く各府縣に講師を派遣し官僚に努むべく目下講師銓衡中なりと(東京特電)

山口聯隊 征途に上る 見送盛ん
西伯利に出征すべき山口步兵旅團司令部及び步兵第四十二聯隊約一千七百名は十日官民多數の盛んなる見送りの裡に山口を出發せり(山口特電)

東京著 金栗秋葉兩氏 三百里を突破して
三百里を踏破せる金栗秋葉兩氏は十日午後三時日比谷公園に到着せり兩氏共元氣旺盛なり(東京特電)

現代獨步の史學者 逝去せる箕作博士
誤字には頑で無頓着 南亭と號し俳句をも

帝大文科大學教授箕作元八博士は朝刊所報の如く九日午後終に逝去したるが曾て博士の指導を受けたる某學士は語る『先生は極めて教授に熱心な人で八時に始まる學校を寒中こ雖も常に七時頃から教室へ這入つてゐた程で最初に獨國へ留學したのは明治十九年から七年間で文部省から留學したのは三十三年から同五年までの三年間であつた、面白い事は獨佛語學の造詣が深いのに反して邦文、英文は甚だ不得意な爲め先生の手紙を

讀む事は 可なりの難事とされてゐる、殊に當て字が多く歸著を貴著こ書く無頓着なこは毎度の事である、之れはあの至難な歷史年代を、恰もいろはの如くに諳記してゐる先生こして非常に興味深い事だこ思ふ、先生が最近の句に『横臥して世界の大勢ごこへやら』こいふのがある謹嚴な裡にもふつくりしたユーモアを持つてゐる處は、一寸和田垣博士を想はせるものがある』又昵懇の間柄なりし某は語る『箕作君は我が國に於ける有數な學者で、或意味では

世界一こ も云ふ可きが出來た、專門は文明史、殊に佛蘭西革命史及び希臘羅馬時代から近世に到るまでの海軍史に詳しい人で、正に獨步の觀があつた、それ故帝大の外海軍大學の講義も引受けてゐた、同君は最初

動物學を 研究したのだが、御承知の如く非常な近眼である爲め、獨逸に留學中顯微鏡を見る事が苦痛になつた結果、動物學を捨て、世界歷史に移つたのだつた性格は極めて謹嚴な人で、酒は一滴も飲まなかつた、趣味こしては例の俳句で

常に南亭 こ號し今度の病氣になつてからも『病み臥し夢は阿を駈けめぐり』などの名句を吐いた、兎も角博士の逝去された爲めに損失を招くものは決して少くあるまい海軍大學なども差し當り大分痛手を受ける事であらう』

惡疫出征軍を襲ふ
西伯利出征中の大津聯隊將卒胸膜炎に冒さる 晝夜寒暑の差甚しき爲め

西伯利出征中の大津聯隊某將校より某所に達したる報に依るこ西伯利の暑熱は昨今晝は寒暖計百二十度を示し夜間は激冷して四五十度に低下し晝夜寒暑の差甚だしき爲め出征聯隊は最近猛烈なる**胸膜炎に冒**さるゝもの續出し目下三十餘名の患者あり中には重態にして內地の病院に送り現役免除こなすべき豫定のもの十餘名ありて外に輕症者多く之が爲め遠からず開始せらるべき第二回過激派討伐には支障を生するやの懸念ありしも將校以下**卒の奮鬪努力**により戰鬪には差支なしこ(大連)

虎疫が蔓延せぬ限り 晝間斷水の心配は無い
酷しい照込が續いたが本年の京城水道は非常に結果がよく未だ晝間斷水がない貯水池の狀況を秋田水道係主任に聞くこ『大分照込みますが水道は大した減水も有りません午後九時より給水を止める管の處を昨今は特に十時迄出してゐますが今の處では水不足ミ云ふ程ではありませんが十日貯水池低水時の水深は十五尺ありました若し此以上照込が續いても九尺位給水停止を施行すれば此夏は先づ凌げる見込です萬一虎疫が蔓延して全市に水道を供給せねばならぬ事になると止むを得ず晝間斷水を遣るやうになるかも知れません』

國技館上棟式 春場所より開館
東京國技館にては十日上棟式を擧行したるが本年中には竣工し來年春場所より開館するに至るべし(東京電報)

昨夜赴任した 前田大佐の置土産
京城にも虎疫が這入つたね 此際魚類を食ふのは禁物

前警務總監部高等課長前田憲兵大佐は十日夜十一時南大門驛發北行列車で新任地旅順に向け出發したが發車前大佐は令息令孃ミ共に驛內貴賓室に在つて見送りの人々に對し挨拶を交換して居たが發車の時刻が迫る頃には

和服姿の 兒島總監を始め驛のプラットフォームは官民數百名の見送り人を以て埋つた。發車を報ずるベルの音に促されて大佐令息令孃を車外に殘したまゝ、昇降口に立つて見送りの人々に對して**微笑を含**み乍ら默禮を名殘り惜しさうに見送り乍ら寢臺車の中に隱れた。寢臺車の中に腰を卸したばかりの大佐を訪れるミ大佐は『ヤアわざく御見送り有難う、サア掛けを給へ……』ミ**快活に呼**びかけて席を讓り『之で漸こ落著いた。何しろ出發の準備に忙しくつてね。すつかり疲れたよ。今度は家族を殘しての一人旅だから氣樂でいゝ。ナニ京城には暫らく來られないだらうつて?さうさな先づ當分のお別れだ或は永く往間の**機會が無**いかも知れない、彼地には虎疫が流行つて居るさうだから赴任早々虎疫にでも見舞はれたら大變だね、虎疫こ云へば京城にも愈々入つて來たさうだね、虎疫に就いては僕も隨分種々な經驗を嘗めたよ そして

僕の經驗に依る知識から云へば京城のやうな海に離れた都會では假令流行しても所謂猖獗を極めると云ふ程までは行くまいと思ふね、つまり豫防方法も講じ易く防遏にもさほど困難ではない、然し之が海港地となると**隨分危險**だよ。虎疫菌は酸性には弱いがアルカリ性には強いから一旦海水に病菌が入らうものなら猛烈な勢ひで繁殖する。殊に魚類に傳染し易いから如何しても船夫や海岸地の人が病みつき易い。だから我輩は虎疫が**流行る時**には絕對に魚類を食ふなと勸める。魚類でも煮て食へば安全だと云ふ人が多いやうだが成る程煮た魚その物は或は安全かも知れないが、煮る迄の中はやはり生のまゝで買つて來て生のまゝで料理をするのだからそれ迄の中に大抵傳染して了ふ。

モーリー氏上告公判
傍聽者溢る 判決は十八日

在平壤米國宣教師モーリー氏の保安法違反犯人藏匿に關する事件は曩に平壤覆審法院に於て懲役四月、二年間刑の執行猶豫の判決を言渡したるが被告は右判決を不服とし高等法院に上告を申立てたる處辯護士側差間への爲め公判延期となり居たるが本日午前九時より同院法廷に於て岩本裁判長及び陪席判事四名並に草場檢事立會の上公判開廷あり被告辯護人として鵜澤總明博士及大久保雅彦氏の兩辯護士出延し不服の理由に就き辯明あり檢事及び兩辯護士間に辯論の交換ありて正午閉廷せるが當日は多數の鮮人傍聽者の外米國領事及び米人十數名の傍聽者ありたり判決言渡しは十八日午前八時半の筈

貨車脫線す 安奉線の椿事
十日午前三時半頃安奉線劉家河驛構內にて貨車脫線し上下兩線共閉塞したる爲め南行二〇二列車は定刻安東驛發第二列車に接續するを得ざりしが是より先き朝鮮線に於ては右脫線復舊約二時間を要する見込なりとの電報を受けたるため安東驛二時間延著こして運轉打合を了し置きしに後に到り復舊意外に困難を來し約五時間餘を要すこの追報を受けたるも時既に他の列車ミ時間に齟齬を生ずる爲め安東延著の列車を行ふ餘裕無く止むを得ず平壤以南二列車特發運轉こし安東延著の列車は其儘平壤驛にて第六列車に乘客其他を繼承するの止むなきに至れりこ

驅逐艦出動 慶北水害地へ
過日來の豪雨にて慶尚北道盈德郡管內水害甚だしく內地人の溺死者多く十日鎭海要港部第二十七驅逐隊白雲出動目下遭難救護中の旨其の筋に入電ありたり

運動界 戰の跡 昨日の庭球試合
全京城軍は近く來城すべき早大軍に對する小手調べとも云へるので全京城軍は若し東京高商に勝てなかつたら早大軍に對しては去年同様慘敗の憂目を見るのは必定なので全京城軍が一生懸命に戰ふのも無理はない一方高商軍にしては滿洲を全部擊破して來て京城が打止めなので茲で土が附かねば今度の遠征は全捷の榮冠を得る譯であるから高商軍も全力を擧げねばならぬ試合である斯んな次第で十日の試合は力瘤の入つたもので然かも接戰火花を散らすと云つた大試合になつたから觀衆が塞らせられたのも無理はない戰蹟を見ると京城軍の矢野井田組は立派に戰つた前衛井田はブイーが見事だけにミスも目立つて見へた後衛の猛球は實によく敵の虚を衝いた北川組に對しての惜しい敗けで勝つた敗因は井田が北川から睨れ通しであつた爲であらう鮫島は前後衛とも若い立見組は前後衛とも相當の當りではあつたが高商軍松根組に對しては後衛に數段の劣りが見へた諸岡組もよく打つた中川內藤組に攻立てられ一蹴されたのは如何した理由かしら岡部森組は矢張全京城軍の主將だけに立派な試合であつた前衛森の當りはよくなかつたが岡部の腕は早大當時の冴を幾分か見せて呉れた高商軍北川組は當日第一の主動者であらう大連でも此組が優勝した後衛北川は拔ぎミ云ひ頭腦ミ云ひ申分がない主將の後衛久保以上であらう前衛淺野は當らなかつた若し淺野が今少し當つて居たら全京城軍の勝つ輕重が問はれた譯であるが主將前衛長谷川は立派な前衛だ主將こしてあの確かな所がよい最後のスマッシングなどは實に見事であつた長谷川こ北川こ組したらなごと云つてゐた人もあつたが主將の後衛としては久保の猛球でなくも安全な球でなければ駄目であらう見物の多かつたのも庭球界のレコードである來賓席には鈴木度支部長官森安棟士高野三井物產支店長など澤山見へてゐた十時から四時近くまで炎熱百度の中に倦まず見られてゐたのは心強かつた當日審判の本間宮川大島三氏の審判振りは立派であつた京城軍に審判者の宣告がないのに球を打たなかつたものがあつた明瞭なアウトでも宣告を待つやうにしたいのは相手方へ對する禮儀である體育協會の競技場設備は行屆いてゐたが新聞記者に席を與へないのは些細な事であるが手落である是非適當な設備が欲しい

高商軍動靜
滯城中の東京高商庭球團は十日全京城軍との試合後一橋會の案內にて三越の自動車に分乘し市內を巡覽したり十二日は仁川に赴き仁川築港其他の見學をなす筈なるが滿鐵庭球協會は十一日午後七時より一行を招待して歡迎會を催したるが全京城軍選手及び協會役員關係新聞記者出席したり

灯ㄋ頃
▲朝鮮に於ける電信電話の創設者こ云つても宜い遞信省技師酒井三郎太氏は此程退職した是からは催眠術及び骨相學の研究に沒頭する相である『酒井君は明治十六年朝鮮に電話を架設した當時の京仁間の通信を創めた人で其後共に電話式に變へた時の創設者で其後非常の手明によつたので遞信事業には忘るべからざる人である▲今度野に下つて催眠術と骨相學の研究に從ふ相であるが何しろ骨相學では斯界の第一人者東京の石龍子に入門して免許狀ご龍孫ミ云ふ號まで貰つて居る▲兎に角高等官四等の骨相學者は面白い

浄瑠璃
▲東京新富座に乘込んだ文樂座人形淨瑠璃の先代彌太夫の持ちは伊達太夫、越路太夫の二人、▲越路太夫一行は九州を巡つてゐるが越路太夫の十八番は何處でも大受けらしい▲古靱太夫一行は奥羽路に入り目下仙臺座に興行してゐるが漸次の好評、古靱の語り口は受けがよいとの便り▲朝太夫松太郎が朝鮮へ來たら受けがよからうと云ふ者がある、消息通曰く『受けが好くても入が取れない』▲卜ト座の中で聖路、三福、駒助の三人は時代物、梅若は世話物時代が好いと稱者の噂▲各稽古場は夏枯れで寂しい、三味線の音樂が聞ゆるのは灯ㄋ頃から

本日溫度(午後二時)
▽京城 華氏 九十五度(本社編輯局)
▽仁川 同 九十一度(本社支局)

龍山雜事
▼又しても溺死 京城本町二丁目十七番地吉田洋服店員金相元(十八)は十日午後三時頃龍山漢江水道橋下に於て遊泳中誤つて溺死し死體は同夜七時半下流に漂着す▼腸窒扶斯發生 龍山漢江通十五番地第三百四十九號滿鐵木工職山口縣生れ佐田茂一妻クラ(三七)は四日發病十日腸窒扶斯と確診鐵道病院に隔離さる

軍司令官夫人
宇都宮軍司令官夫人(一行六名)は十一日朝入港高麗丸にて釜山上陸官民の出迎ひを受け直ちに十時急行列車にて京城に向ひたり(釜山特電)

店員の逃亡
群山大和町島馬竹三郎方雇人中野藤一(二〇)は去月二十三日主人の不在を窺ひ古自轉車一臺代價三十圓其他衣類數點現金一圓を竊取して其儘逃走したりと

汽車から墜落
十日大邱驛附近にて第一旅客列車乘客鮮人一名進行中の車窓に立ち涼を納れ居る◆列車動搖の爲め振り落され頭部顏面等に負傷したれば直ちに鐵道醫をして應急手當を施さしめたるが生命には別條無かるべしと

舍身居士を
上つた田中舍身居士は六月八日……勢力は皆無で勅語を無視して……は仕事は絕對に出來ないこ云ふ……

連絡船上臨客 仁川期米 下關期米特電 釜山正米市場 天氣 晴一時

演藝案內
大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞會社代理店 ◎當る八月八日より特選大寫眞提供 ◎實寫『マルゼル』島 ◎滑稽劇『ポツプス』の戀 ◎伊太利アルマンドリー會社傑作 大活劇 死の競爭 全五卷 ◎新派大悲劇 響 全五卷

喜樂館 本町一丁目 電話九七番 名猿ジャッコー 五卷

文樂座 本町五丁目 電話一〇八番 水戶黃門漫遊記

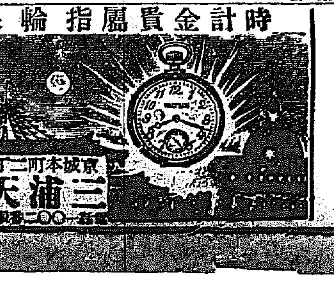
浪花館 京城府浪花町 電話二六〇

壽館 本町二丁目 電話一〇五〇

京城名物 金剛まんぢゆう 松賓花入

不老藥湯本舖

時計貴金屬指輪眼鏡商 京城本町二丁目 三浦天龍堂



賛化病院 京城府若草町一丁目 電話二四一番 內科 小兒科 入院隨意 施療す 每日五名を限り 醫學博士 古城憲治 金澤醫學士 打田義芳

東洋藥房 京城若草町

◆又と無き好機會 織元の均一廉賣 二品一組五圓均一 二品一組六圓均一 二品一組八圓均一 二品一組拾圓均一 丸登足利織物合資會社

第五版

蒙古から便り

[illegible]去五月下旬朝鮮經由入蒙の途に[illegible]府を訪問し各喇嘛廟を巡拜し[illegible]の消息に依ると[illegible]に減退したとある[illegible]居士[illegible]に馬賊と思はれたなど云ふ滑[illegible]も尠くない相だ

[illegible]い各部地方で斯うなつては今の處怎う云ふことになるか後想さへ出來ない位である云々

北京より(五)
排外の源泉地
長城生

支那の排外行動、文明國の所謂國民外交の泉源が學生團の間から湧出する事は前に述た通りである此の學生團が最も忌憚なく其所信を發表し研究する處は中央公園相樹下である事も前述の如くである此等排日學生を製造して居る學校は北京高等師範學校、北京女子師範學校、北京農業、工業、政法專門學校、北京法政專門學校等であつて此等は官立又は官の補助の下に成立して居る學校であるが此外に夥多大小の私立學校の男女學生も混合し居る

◎青年男女の言論が多くの場合過激に陷り易い事は古今東西皆同一轍であるが殊に近代支那青年男女の政治に對する言論は最も過激急進である彼等は政治の實際運用を知らず自國の國民性の如何なるものかに深く思ひ及ぼさずただ支那の人口と國土の彪大なる面積を基礎として立論し支那も現在の政治を改革すれば直ちに歐米列强の如き强國を實現し得らるべきものと信じ其の熱情の迸る處或は國內の革命となり或は無謀なる排外排貨となつて現はれるのである、彼等青年の心は誠に純なる愛國愛民から生じたもので同情に値するものがある而して彼等又志を得て政界要路の人となるの日、始めて他列强との關係及び其國民性と政界の積弊等根本的革命の容易ならざるを悟るに至り青年布衣の愛國者は一變して極端なる自己主義となり政治的地位は自己の財囊を肥すに最も好都合なる營利の地位に居る者と心得太く細かく一日も早く其の財を埠にする事に汲々たる支那式の政治家に豹變するのである現今幾多の支那政客も其の青年學生時代は皆斯の如き愛國者であつたに違ひはないが……

◎然れども之等青年の議論と其の思潮の流向は決して等閑に附すべきものではない支那の革命は古來悉く斯の如き個人として何等社會的地位を有せざる者の間に醞釀せられ老大自ら廻らざる國家及び政府が顚覆されて居る、近年此の青年の議論が內治よりも多く外交方面に向ひ特に對日本問題は彼等の論議の大部分である事は誠に止むを得ない處であるが而して日本に對する彼等の誤れる觀察と誤れる結論と其の行動とは常に日支兩國民の甚だしく不利益を蒙る處である我が國民及び當局は此等の點に深き注意を拂ひ彼等の誤解を解く事に努力しなければなるまい

◎日支親善と云ふ事は日本及び支那の存立上緊要なる問題であらねばならぬ而しながら日本人が論ずる如き國家存立上の日支親善論は支那に於ては政治家にも國民にも殆ど徹底しない一種の空論に過ぎない日本人は日本の存亡興廢は直に自家の存亡興廢と考へる事が能きるが支那人は支那の存亡と支那人の存亡禍福とは全部別問題である少くとも同一のものと考へる事は容易の事ではない從來の日本の對支問題は此の邊に考へが及んで居らなかつた若し國家的に支那を救ふと云ふ意義の外交ならば自己の私腹を肥す事に日も亦足らざる政府當路の者よりも寧ろ此粕樹國中の青年學生を對手として日支共存の方策を議する方が當つて居るかも知れぬ而し夫程でなくとも此の青年者流の政論は支那に於ては特に注意を拂ふ必要がある

朝鮮の理想的避暑地
山か海か……投票募集!!!

滿鮮內に於ける理想的避暑地を投票募集す三等當選地迄各停車場及關釜連絡船中に美麗大型寫眞額として揭揚一般に紹介す投票用紙は本紙に刷込あり締切八月十八日此の地方紹介の好期を逸する勿れ

主催　京城日報社

大連近事

◎營口奉天を中心として南滿各地に發生したる虎疫は漸次猖獗を極め之れを支那官憲の防疫に委し又は現今關東廳に於て施行し居る防疫方法の程度にては大連及び州內に虎疫の侵入を防ぎ得るとするも沿線各地の虎疫を終熄せしむる事は頗る困難にして其の蔓延は遂に州內を猛襲し來らんも又知るべからず

◎今回滿鐵及び關東廳は協力して全沿線に亘り徹底的大防疫を行ふ計畫を以て第一回の防疫費數十萬圓を第一豫備金より支出方を政府に申請中にて之と同時に滿鐵にても既に防疫方案を決し第一回として卅萬圓を支出する事となり守屋衞生課長は沿線の流行地の實地視察に向ひたり

◎關東廳及び滿鐵と虎疫の流行慘害の未だ甚だしからざるに當り機敏に徹底的大防疫を實行せんとするは頗る機宜に適したる處にして希はくば計畫論議に時日を空過する事なく速かに實行せん事を防疫事務たる間一髮を容れざるものあり南滿洲中殊くも滿鐵沿線に虎疫を侵入せしめざる事は平素に於ける馬賊の侵入無からしむる努力と同じく厄介なる我責任の一つなり又彼等を流疫の恐怖中より救ふ事は道義上一時も躊躇すべからざる急務なるべし

◎沿線各地の防疫事務は勿論支那官憲と協力する事を要するも彼等に多くを期待するは甚だ危險にして其の效果尠く曾て防疫衞生問題を起したるが如き之れなり然りと雖も之れを疎外し輕視する事を愼まざれば我巨萬の出費も其の效果は彼等の惡感反抗を買ふの外なかるべし防疫の如きは其の方法宜しきを得れば其の目的を達成するのみならず相互の親密を增す上に於て頗る功果多かるべし努めて徹底的に大規模に施行されん事を望む

忠南輕鐵
京釜線に接續　忠南の市邑を縫ふて

阪上貞信氏大平德三郎氏等の發起に係り多年唱導されたる忠南輕鐵も愈々實現の機運來り遲くも本月下旬迄には認可の指令ある豫定にて郡山の對岸龍塘浦を起點とし京釜線天安を經て牙山終點に到る豫定沿線各地は俄に活氣を呈し特に天安內鮮人士は輕鐵實現に刮目する者多く輕鐵許可の時期を調查すべく京城に委員を派し一面實現後經濟的主要の位置に在る群山人士の了解を得べく最近天安學校組合長柴崎定介氏外鮮人有力者一名が特派し來る等輕鐵實現に付て目覺しき活動を爲し居れるが近く豫定沿線各地の代表會同し今後の一致方針を議定すべき計畫あり

平南の旱魃(上)
八田平安南道技師談

今年夏季の旱魃につき平安南道技師八田吉平氏は左の如く語る

今夏の旱魃は實に近年稀有の大旱魃で爲に道內各地方の農作物も非常な大打擊を被つてゐる概して云へば同じことでも粘土の田畑は比較的辛棒も仕易いが砂土の地質の處は全然駄目だ又同じ作物の內でも粟などは比較的旱魃に堪へ得る力を以てゐるがそれでも少くも二割位の減收は免れまい

最も打擊の被つて居るのは畓田で現在の狀況から見て先づ二割位の收穫より得られまい尙引續きこのまゝ繼續さるゝとしたならば收穫は殆んど皆無となるかも知れないと實に憂慮してゐる、其他小豆、蕎麥等も何れも打擊を被つてゐることは云ふ迄もない水稻は場所によつては比較的良好な處もあるこれは灌漑用水として照り付ける程成績がよい、本道でも大同、中和、江西の如く大同江の逆流を利用してゐるからまだ今の處では大した被害もない樣だが然し旱魃に連れて江の水も減少するから逆流が完全に利用されなくなると矢張り他と同じ樣に生育が惡くなる

本道內で最も被害の多いのは安州、价川、德川、孟山、陽德

京
道名　地名
避暑地投票用紙
京城日報社

蟬袋

蜘蛛の巢と食客(續)
仁川堂主人

今は取潰ぶされて其の跡さへ留めざれど元東京の新橋と云ひし今の汐止驛に近き所に日蔭町藝妓の軒を並べゐたる時の事なりし。

さる藝者屋へ食客の身となりし同じ歲になる二人の男、そこの老母が口鑿しく、犬の男に向ひて、箸の上げ下しに小言を云ふを見兼ねたる出入の車夫に德さんと云ふものあり。あの婆アさんは、中々の强突張なれど、只だ蜘蛛の巢が嫌ひにて、婆アさんの居間の蜘蛛の巢を拂つてやれば、常に機嫌好しとの入智惡をなせしかば、辱なしと許り、翌朝早く起きて一人は老母の居間に朱配と箒を持ち隅々まで掃除をなしたるが、生憎蜘蛛の巢は何處にも見當らざれど、老婆の目の惡きを好い事にして『阿母さん、こんな所に蜘蛛が巢をかけて居ります』と天井の隅の暗き所を箒にて拂ふ眞似をなせば、老婆は眞に思ひて『有難う御座んす、どうか取り除けて下されたし』と言葉も丁寧より叮嚀なりしかば、其の男得たり賢しとて、掃除を仕舞ひ自分の室に歸り、相棒の男に、旨く行きたりと囁けば、〆たと許に、毎日老婆の機嫌の惡くなる頃を見ては、何の座敷にても所嫌はず『阿母さん、蜘蛛が〱』と云へば、老婆は俄に顏の色變り『後生ですから取つて下さい』とて、幸ひ老婆の目の惡きより其の後は二人とも老婆の怒を蜘蛛にて鎭め居たりし事あり。

こは或る歲の春より夏を越へ秋へ掛けての事なりしが、幸か時節到來して、男二人は秋酣なる明月の頃それ〲職を求めて藝者屋を去りたり。時は恰も日露戰爭の二三年前にて故末永鐵巖氏の東京に在りける折なりしかば此の話を聞きて、可笑き事よとて、戯に末永氏は其の內の一人の持てる扇面へ『蜘蛛の巢を拂つて凉し月今宵』と認められたる事あり。

さるにても春風秋雨二十餘星霜末永氏の大連に渡り、遼東新報を起されたることは人の知る所なるが其の食客なりし男の內一人は、現在鄕里の千葉縣某地にて病院長となり更に他の一人は、未だ志を得ずして四十になるも家を成さず。今は滿洲さか朝鮮さかの某新聞社に、名のみ記者生活を送りて、放浪の生涯を繰り返し居れりとか。

蠅=一萬圓
大連埠頭辯

內の蠅は一つの名物にして其の夥しき想像以上である埠頭事務所にては惡疫流行の際とて之れが驅除減少を計り一萬圓の豫算にて蠅を買上ぐる事となり一貫目五十錢宛にて過日より買上げを開始せり(大連)

沿線調查

忠南輕鐵豫定の沿線經濟狀況其他視察調查の爲め群山大平德三郎氏は往復十數日の豫定にて八月十二三日頃群山出發の由なり(群山)

專賣特許　ケイフ　名ガラスふきん
在來の硝子ふきんの如く器具藥品を要せず手を汚す事なくきれいに磨けていつ迄も使へる德用な便利なガラスふきんは又西洋食器などのあぶら氣を取るにも妙なり是非一度御試しを乞ふ
見本一枚二十五錢送料二錢
京城太平通り　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番　電話長六〇九〇番

商況

株式

東京現株　至急電報
▲印騰貴　△印下落

銘柄	掛込	十一日中値
鮮銀	一〇〇・〇〇	△一三三、〇〇〇
同新	五〇・〇〇	▲一八〇、〇〇〇
京電	三〇・〇〇	▲六一、五〇〇
東拓	五〇・〇〇	△一〇三、〇〇〇
同新	三・五〇	▲六三、五〇〇
殖銀	三〇・〇〇	八一、〇〇〇

東京株式　至急電報

銘柄	十一日前場大引	前日比較
東株	一九三、九〇〇	一、九〇高
同新	一八五、〇〇〇	一、六〇高
滿鐵	一七五、八〇〇	七〇高
一新	一五四、〇〇〇	五〇高
二新	一五一、二〇〇	三〇安

大阪株式　至急電報

銘柄	十一日前場寄付	七日後場大引
大株	一九六、五〇〇	……
同新	一九七、六〇〇	……
郵船	一七八、三〇〇	……
同新	一三四、九〇〇	……
商船	一八五、九〇〇	……
同新	一三二、九〇〇	……
鐘紡	三五七、五〇〇	……
同新	三三七、二〇〇	……
東紡	二四九、三〇〇	……
東鐵	一六七、〇〇〇	……
堂米	……	……
上取	五〇、〇〇〇	……

京城現株　標準値段
▲印騰貴　△印下落

銘柄	拂込額	時價
仁取	三五・〇〇	▲一五七、五〇〇
殖銀	三五・〇〇	八一、〇〇〇
朝郵	二五・〇〇	四〇、〇〇〇
電興	一五・〇〇	一八、〇〇〇
皮革	三〇・〇〇	二六、〇〇〇
東畜	一二・五〇	一五、〇〇〇
朝紡	一二・五〇	二六、〇〇〇
朝紙	一二・五〇	三三、五〇〇
商銀	五〇・〇〇	六三、〇〇〇
滿毛	一二・五〇	三四、〇〇〇
滿糖	一七・五〇	▲三五、〇〇〇
鮮煙	二〇・〇〇	二五、〇〇〇
輕鐵	五〇・〇〇	△四五、〇〇〇
鮮土	一二・五〇	▲二〇、〇〇〇

水力電氣好況

募に應募八十倍の好況を以て締切りたる大正水力電氣株は今回田中商店より一千五百株限り賣出し居れるが人氣頗る良好にして既に七百二十枚の商內ありたる程なるが同事業は奈良縣十津川天の川の三大急流を利用し大阪は素より遠く神戶方面へも安價に送電し得らるゝ大事業なるが如く去る大正三年より既に計畫せられ居たる由にて其の研究は今日迄十分遂げられ居れば斷水を見る如き事は絕對に無かるべしと云ふ而して田中氏は自己の鄕里の關係上實地を熟知し居る由なれば其有望を確信したるに株の申込を爲したるに對し僅か二千株足らずの割當を受けたるものなりと

下關米取引所仲買　桝谷米市
多少ニ不拘御注文被下度御取扱可申候尙弊店ノ信用ハ下關第一銀行住友銀行十八銀行へ御問合ヲ乞フ

銀行保險强硬

定期諸株は賣方の手仕舞加はりて市場一體に軟狀を呈し居れど過般來緩みなく上進を告げ居れる銀行株保險株の類は相變らず買物薄きに買望み多き爲め相場は依然强調を保ちつゝあり是れ同事業には勞働問題の壓迫比較的輕微なることゝ前途に拂込增資の興味あるに依るべきも其利廻りの漸々低下せる關係上最早大なる騰貴は望まれざるべきか

本日の商內株

朝紙三十四圓九十錢にて四十枚▲滿鐵第二新百十七圓にて五十枚▲東拓百六圓にて百枚▲同新六十五圓にて二十枚▲東畜三十六十錢にて二十枚▲滿糖三十五圓にて五十枚▲鮮土二十圓より廿一圓迄百四十枚▲浪速銀一八十一圓七十錢にて三十五錢▲東鐵二十七圓にて三百枚▲殖銀二百八十一圓にて五十枚▲鮮銀二百十六圓にて二十枚同配當付二十三十五圓九十錢にて二十枚▲日石新六十一圓八十錢にて百五十枚▲電興十八圓五十錢にて四十枚▲郵船新百三十五圓にて二十枚▲新東二百七十五圓にて二十枚▲紡織二十五圓より六圓六十錢迄七十枚▲仁取百五十八圓にて五十枚▲大正水力十五圓より六圓五十錢迄七百二十枚

仁取益々好況

人氣回復後急に買物潜みて益々氣丈の成行きを示しつゝある仁取株は休日前百五十六圓五十錢迄引返したるが昨日は又一圓五十錢方上値百五十八圓にて五十枚の商內を見るに至り益上伸の氣を示し後氣配に既に六十圓の前値を呼び居れるも進んで賣らんとするものも現はれざるが如し

輕鐵大暴落

朝鮮輕鐵は增資を氣構へ盛んに買煽られたる結果八日東京定期市場に久しぶりにて先物の商內行はれ六十二圓の相場を現はしたるが翌九日は重役總辭職の報に氣を腐らし一擧十七圓方の瓦落を演じ又復額面下に追込まるゝに至れり

東亞募入確定

東亞煙草新株は曩に三十圓三錢見當の募入說ありし以來未だ確報に接せざりしが今朝當地二三銀行への入電は最底三十圓六十錢處に募入確定したるもの如く尙五十錢處も一部分の募入を見るべしと云ふされば今回の應募プレミアムは內鮮を通じて大部分は朝鮮に高位にあれば其の朝鮮側迄かに落ちたるものと見て差支へなかるべきが當地現株界に於ける人氣は毫も衰へず依然三十五六圓迄買進み居れるものゝ如し

鮮土又復昂騰

朝鮮土地株は買人氣益々旺盛にして既に二十圓を突破し二十一圓の新高値を現はしたるが先高見越しに買物潛となり今一般の高値を現はすべき形勢にあり

仁川株界
仁川取引所

株は今朝も百五十株百五十八圓にて取引行はれたる商內の手振りを調べて見ると現の買方は二百圓や三百圓を豫期しての買手でなく最近の鮮米の營業成績から推測しても又鮮米の前途に對する公定機關として將來は如何なる大發展を來すであらうか容易に窺知し難きことは云へ現在弱氣屋さんの主張する釜山取引所問題とか殖銀より五十萬圓の借入金など他人の疝氣を頻りに病んで居るけれども現在の商績を對照すれば倍額以上に增加されて居る其上手數料は倍額以上に引上げて居るし此の上仲買店の近く認可を得て鮮米の權威を振ひ尙進んでは全鮮は悉か內地迄も取引關係の投機熱を促進するに至らんか遠き將來と云ふに非ずや兹二三年の內には京阪の大市場と肩を並べる事が出來突飛なる高値を出現せずとも行く〱の將來は豫測意外の高値を現出して十呂盤詰めの買方が來る時期が來るであらうと某消息通は樂觀的の氣焰を吐いて居る

北濱だより

强氣は早くも下止つた相場だと云ひ▲弱氣に云はせりや▲此の保合が結局幸ひ又好い處を賣らして臭ると喜んで居る▲イツも自己に都合の好い解釋をするのは獨り此社會の人計りとは限らないが茲迄來ての强氣の言ひ分には相場が味方をして居ぬだけ鳥渡無理ながないでもない

米況

東京期米特電

◉十一日前場
當限寄付　三十七圓九十八錢
當限止め　三十八圓〆一錢
中限寄付　三十七圓八十九錢
中限止め　三十七圓四十一錢

◉十一日前場
寄附　三七、一九
高値　……
安値　……
止め　三七、一四

大阪期米特電

◉十一日前場
當限寄付　三十九圓八十三錢
當限止め　三十九圓九十九錢
中限寄付　三十八圓七十錢
中限止め　三十八圓五十九錢

◉十一日前場　九日後場
寄付　三七、七九　……
高値　三七、七九　……
安値　三七、五九　……
止め　三七、七八　……
(寄電時、止め前場)

神戶期米特電

◉十一日前場　九日後場
寄付　三七、五五　……
高値　……
安値　……
止め　三七、四一　……

仁川期米

十一日前場買過ぎ反動高今朝阪地電報末著なるも天候は西北の風に益々快晴の光景を示し加へて一昨後場の阪地減切高に益々買方を刺戟して公定買ひの旺盛に市場の人氣は煎物を喚起して殆んど場面は買氣充滿に立會ひ高場の柏子木と當限は出來ざるが中限四十四圓四十錢と田金の買ひに始め先限四十四圓二十錢と七十三十の大上放れに寄付き④の賣りに二十五錢と蹴込しも押目は煎物買ひ猛烈を極め四十錢と前高値に頭合せしが高値臺に煎れの利喰ひに伸惱み三十錢と前場の利喰ひに大混戰を演じたるが田は押目は透さず買進み二十九錢と下押せり⑨を喰止めて三十五錢と又盛返し二錢と混沌に引

▲第二節　當限四十三圓七十錢と因買ひに始め中四十錢と同事なるが先二十錢と④の賣りに下寄せしが押目は園田金克く買ひて三十錢より五錢と跳返したるが戾りは劃高思いの新規買りとありて二十七八錢を採合ひ九錢と氣丈に引▲第三節　場面の煎れ一巡に當限六十五錢中三十錢と何れも軟弱先二十錢と氣丈に始まり前手口の買進みに案相手堅く戾りは目先買に二十四五錢を採合ひ六▲第四節　當中來不申先二十五錢より八錢と引締め六七錢を採合ひ引▲第五節　先二十五錢より二十三錢と弛外しも押目は地場の買ひ伏在せる丈手堅く九錢と阪し七八錢は焦付阪地電報待ちに呪合ひ二十六錢と散合せり

煎れ物一巡す

一昨後場買過ぎ反動として地場筋好く買向ひ今前場減切高の四十四圓四十錢と買煽り續いて先限も七十三丁大上放れに寄付此羽音に落ちかされたる羽氣筋の狼狽一方ならず各店より煎れの買物高み四十錢と前高値に頭合はせしが一昨後場四十三圓五十錢にて三萬餘石の買建を有する㋣田店は隙かさず利喰ひとの大混戰を演じ二節煎れの一巡に二十錢と下押せしも押目は前手にの買進みに存外手堅く遂に二十錢臺を持合ひ散會せしが押目は地場の買物衰へず材料の主眼とする天候は依然照込み强く尙雨を望み難き模樣なれば眼先大阪の如何に拘らず今一段の高値を演ずるならん

◇公定相場

十一日前場	
寄付	四四、三〇
止め	四四、二六
高値	四四、四〇
安値	四四、二〇
一節	四四、三三
二節	四四、三九
三節	四四、二六
四節	四四、二七
五節	四四、二七

◇出來高　二十九萬千石

◇帳入値段
當限　四十三圓六十八錢
中限　四十三圓〇三錢
先限　四十四圓丁度

仁川米豆取引所仲買人
㊝ 仲買店
電話 一五五 一九八番

市場雜觀

此の頃の仁川相場は米界の權威を爭ふと云ふより寧ろ天候の權威を戰ふて居ると云ふか早道である去れば市場の活殺は天道樣の胸三寸で自由自在であるから茲賣るにも買ふにも中々遣り難い照り降ひ照り込んだ天候は容易に雨が降りさうもないので一昨後場に六十錢臺は丁度天道樣の斷ゆを買込んだ連中ものであるが其上阪地減切高と云ふのだから其の斯りも少々でない此の前日の調子を挑めた弱氣筋は不安なる斯ふ買向ふた地場筋は低い鼻を高くして今朝は公定買ひ〱で益々弱氣の氣勢を挫き賣方は何れも背息吐息をついて煎れ退かねは金切處分と來るか引高い上にも高い相場を演じて所を恨んではこと云ふて天道樣や取話てあるが併し見た處が始まらぬ八起きと云ふ事も有れば夫れ程悲觀する事もあるまい勝に乘じて無理相場に買煽れば天道樣は見捨てゝ總督さんの御眼鏡も有るから何時節提を下すかも分らんと云ふた處で此の高い米を人爲的に市場を買煽りて人心の不安を惹起せんと云ふのでなく只人氣の消長で自然の現象と見る外ないが現在の米高に對する鐵槌は天道樣に賴んで雨を降して貰へは二百丁位の調節は出來るであらう弱氣は空の雲行きを睨めて氣を採んで居るが如し

京城正米市場

一昨九日は頭上の雨模樣に氣配弱含みを呈し殊に昨十日は伯中に當り鮮人は降雨を期待しボンヤリの市況なりしも從に降雨を見ず天候は更に見直して愈々照込み强き爲め荷主は先行き案じに茲再び買警戒となり殊に期米の跳ね返しを移せし旁今朝は二三十錢高の氣配にて今揩物は上品四十圓五六十錢より四十一圓と唱々を唱へられつゝあり併し倉入鮮米は品痛みの恐れあり且つ此邊値頃に於ても手放し頃といふ念もあれば一部處分急ぎの賣物現はれ手合ひも四千二百八十叺と近來の出來高を示せり值段は高値四十圓六十九錢安値三十九圓二十錢

仁川正米市場

此頃の正米市場は內地注文の振ひ居る爲自然商內も閑散光景を示して居ると云へ旱魃見越し期米高に牽制されて自然引締り平澤三等神力地揩は四十三圓二三十錢見當に買氣を催して來たが何を云ふても在荷薄で捌りたる商內は出來たるが穀物協會の附け出しに依れば百五十叺乃至二百叺の小口商內に過ぎざるが地揩玄米は內地並に滿洲地方より弗々白米の買注方入込み精米屋の買進にて益々高唱への四十一圓七八十錢と云ふ好況を示して居るが籾揩屋は又籾と採算上不引合唱へ容易に賣急がず益高値を主張され居るが黃海道の在來種は更に品薄にて賣物なく鳥致院の中白は弗々賣物現はれ來るも意外に高値を主張され四十三圓より五十錢見當に賣惜む振合なるが其他雜穀に於ても幾分強含みの商勢を示したが其內益々高値を辿らんとするは滿洲粟にして此の旱魃見越しに黃海道地方の思惑買ひに一袋十八圓五十錢見當の高唱へとなり居る如し

各地米況電報

釜山三等正米　四十三圓九十錢
群山三等正米　四十二圓三十錢
大阪市場群山三等米　四十五圓五十錢

雜報

支那粟小甘し

昨今數日に約五圓近くの大暴騰を演せし支那粟も餘りの行過ぎに頓回へとなり日曜日は最高出來値より約七十丁押しの海上物十九圓三十錢見當を唱へしが今日は更に小甘く十九圓と軟味を含めり併し天候依然照込み酸しき爲め平壤方面よりは依然値頃狙らひの買氣旺盛なり

本日市場の附出しは海城物十七車九月渡し十七圓六十錢遼陽物十同十二車十七圓五十錢昌圖物十月渡し二十五車十七圓十五錢四平街九月渡し一車十六圓五十錢にて近來殊に見ざる大取引行はれ且つ人氣の多くが先物に注集しつゝあるは旱魃影響による端境前後の米不足と相場の高値氣構への思惑增長に因るものなり

籾は高値待ち

籾は河筋物廻著品相當にありと雖大部分は地主の持品と思惑品なるを以て一般に頗る品薄の相場は十二錢乃至十一錢七八厘の高値を固持して讓らず籾揩業者は現下玄米相場との打算上不引合ひを唱へて手控へ居れば今揩物の出廻り甚だ稀薄なり

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
㊞ 仲買店
電話 一四四番、八三三番

大豆買萌氣丈

大豆は正米四十錢高に弗々思惑買萌しの傾向ありと雖未だ事實買進めるもの少く氣配も僅か一二十錢方の引締まりを告げたるのみにて龍山物は南大門驛乘り十八圓五十錢見當を唱へり

淸酒値上內定

淸酒は前月値上げを受けたる後更に各釀造地の値上がりを受けたるも需要閑散期に當り當業者は一般冷靜に看過し來れり現狀維持を以て今日迄推移し來りしが追々高値物の入荷を見るに至り同業者間に於て値上の要高まり今明日中に組合の協議會を開き之を決定する筈なるが値上の程度は略ぼ大樽一丁に二圓小賣一升に付五錢上げに內決せるが如く實行期は多分本月二十日なるべしと

砂糖依然不振

砂糖は內地相變らずの不勢に茲許又依然見送りの商狀にて取引閑散を呈し居れるが其後破格の投げ物なきより氣配軟味ながらも三十五圓見當を持合唱へに推移しつゝあり昨今一部手口間に三つオーの三十四圓處に商談の物ありといへば一時に比し幾分買氣を進め來りしものゝ如し併し今尙素人筋の處分殘り少なからざれば前途愈々人氣の同復は難しと見定め著きたる既は今一度びこの投げ崩しあるべく當業者は之等の懸念と在荷の消化不良に多くは買控態度を採り居れり

神經衰弱　生殖器病患者に急告
恐るべき手淫の害毒の爲に人生最大の幸福を失ひ●神經過敏●恐怖の感念●頭重●頭痛●眩暈●思考力減退●記憶力減退●頭內朦朧●憂鬱●麥精●食慾不振●全身倦怠●四肢の痲痺●性慾缺乏●陰萎●早漏●發育不全等に苦しむ方は至急本院に申込まるれば生殖器病專門陽春堂院長が多年苦心研究の結果發見せられたる專門藥ノイラの說明書無代進呈す
藥價十四日三圓五十錢卅日七圓六十日十三圓九十日十九圓送料十錢
東京神田三崎町二丁目一番地　陽春堂藥院　電話本局一六四六番　振替一二三九番

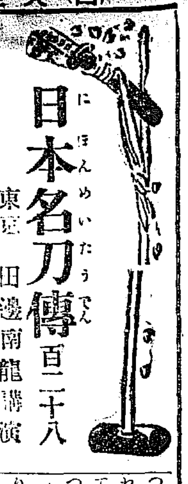
魚釣具　投網卸賣小賣
(御申越次第定價表進呈)(補鳥用カスミ網各種あり)
京城永樂町貳丁目　吉備商會　電話三四四番　振替京城四三八番

株式會社仁川米豆取引所仲買人　全 高田仲買店
▼我觀的中
來たる〱高田通信部が米界の前途を指導して買方一偏の方針を主張せし鮮米相場の四十五圓は愈々顯現されたるが是れは群衆心理の表現として是れ以上尙買餘地あるか否かの問題に想到するのであるが併し相場は理外の理性足らぬ者が餘も更に吾人の意を得たる處とするも現在の情勢は米界の權威を無視して天候の權威を奮闘力戰せられつつあれば一概に論ずる事を許さず其の轉化の急激なる天災的相場に乘じて高田通信部は敏速に報導して顧客諸君の成功を祈らんとす大に賞導あれ
仁川海岸町三丁目　高田通信部　電信略符(タツ)　振替三八一番　電話一〇〇番・長一一九番

▲軍隊拂下被服類　村上商店
特別賣出
新品軍隊式茶褐夏服　一組三圓五十錢
同茶褐コール並に杉綾　一組大半袴一圓八十錢ゞ三圓五十錢
古品各種　洋服　メリヤス　雜貨　見切品　多數
其他　紺小倉　作業服　一組一圓一均一式
革具類　諸官衙拂下品
京城府北米倉町　電話千百十二番

▼大正水電株提供
曩に應募八十倍の好況を以て締切りたる大正水力電氣は奈良縣吉野川十津川天の川の三大激流を利用するものにして其の電流は遠く神戶方面にも供給し得らるゝ大事業なり
炭價の騰貴は底止する處を知らず今や世界的に滅盡の期近づけり今後之れに代るものは水力電氣ならざるべからず我國に於ても歐米に倣ひ水力電氣國營論さへ提唱さるゝに至れり以て本事業の將來有望なるを知るに足る
弊店は平素の愛顧に酬ゆる爲め今般左の破格値段を以て提供す株數に限りあり至急御申込を乞ふ
株數　一千五百株
提供價格　一株に付 十五圓(但十二圓五十錢拂込濟)
申込單位　二十株以上
公債株式現物問屋　京城本町二丁目　田中友吉商店　電話九九三、三〇五四番
仁川本町三丁目　田中友吉支店　電話七三六番

痔疾專門
京城明治町二丁目(本町より入る中央)
京城久枝肛門病院
電話二一〇二番

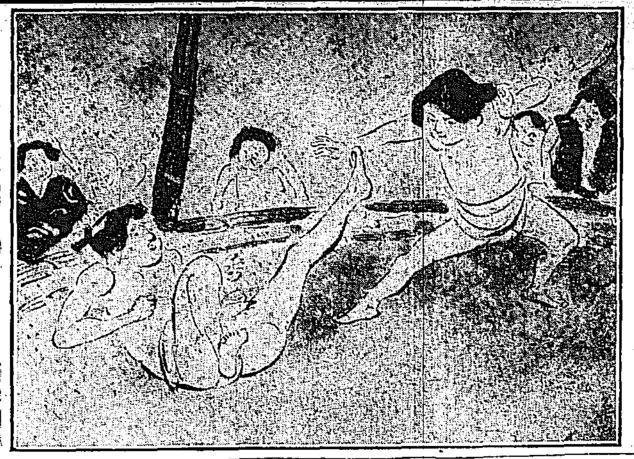


日本名刀傳（にほんめいたうでん）百二十八

東京　田邊南龍　講演

堀川の國廣（二）

遂に天文の年間、九州大名の中日向國飫肥城主五萬石、伊東義祐入道の家來で、代々刀工を勤めて居ります高木國昌と云ふ人の伜國廣、幼名數丸天文十七年正月の生れ、生長するに從つて不思議の怪力人間も利口で口數も多く無い、兩親も多くの子の有る中で男の子は數丸一人ゆゑ取分けて之れを寵愛する、なか〳〵怜悧な子だから、幼少の中から學問を仕込んでも覺ゑが好い、一を聞いて十を知る、十を敎ゆると早くも百に拔ける、百を敎ゆると千に拔ける、千を敎ゆると萬に拔ける、萬を敎ゆると億に拔ける」おくを敎ゐて



居るうちに臺所に拔ける、正可に臺所には拔けませんが、兎に角天性賢い氣質、十一歲の頃から父の業たる刀を鍛ふことを學んだが、是もなか〳〵器用でズン〳〵上達する、また武藝が好きで暇を見ては城下の佐々木神刀齋の道場へ通つては劍術の稽古をする、何しろ非常の怪力だから、僅かに十二の小伜だが、皆々數丸の相手を嫌ふので、自然佐々木先生とのみ打合ふこと眞向を打たれるとお面の上からでもその痛さは眼もくらむ許りになる、先生に毎日々々稽古して貰ふから益々上達する、十二歲の夏飫肥の天神の祭禮に境内に小供の素人相撲が有つた、出る小供も出る小供も皆數丸に投げられる、また其頃九州では狐ヶ嶽と云ふ力士があつて其の弟子に有明、筑紫潟、南海、櫻島なぞと云ふ大力無双の人々が居た、此の一行が或時天神の境内で晴天十日間興行した、素人の飛入勝手次第で、隨分腕自慢の素人が飛入する者もありますが、兎角より足掛の力士に勝てる者は無い、然るに數丸十二歲で飛入し、櫻島、有明、南海、筑紫潟、ナ…鹿毛などの面々を難なくコロ〳〵と投げ、六日目に大關の狐ヶ嶽と引分けを取つたので、さア大變な評判、飫肥の刀鍛冶の倅數丸童子と云へば誰知らぬ者無き程、世間の人は皆舌を卷いて其の怪力に驚きました、十七歲の春を迎ゐた時、數丸は刀を鍛つことが益々上達し、父國昌は我子ながらも、如何にして斯かる腕になつたかと、心の中の悦びは譬ふに物なく他人にも誇る位でありました、また劍術も非常に上手、數丸は父の業をついで普通の刀鍛冶となるのを嫌ひ、行々は武士となつて戰場に出で其間々々に已の氣に入るやうな刀を鍛れ、又他人で賴んで來れば鍛つてやらう、武士で刀鍛冶と云ふ一風變つた人間となつて大いに名聲を揚げやうと發悟した、大正の今日でも九州の山の中へ往けば狐や狸はまだ住んで居る、能く狐や狸が人を惑すと云ふことを申ますが、何かこれは理窟があるらしいので、或學者先生に伺ひますと、狐が人を惑すのは丁度催眠術のやうなもので、微妙な電氣作用か何かで人間の油斷に乘じこむのだらうと云ふことでありますが全く狐が人を惑すと云ふのは事實らしいので、南龍はまだ實驗は致しませんが、度々人から話は聞いて居ります。所が此の飫肥から油津と云ふ所へ通ふ街路に朝山と云ふがあつて、昔はもつと高かつたのが噴火して山の頂が崩れたが、却つて路が險阻になつて深い谷があり、晝さへ暗き森つゞきで旅人なぞは能く狐に惑されるので通行人の迷惑は一通りでは無い。

棉自由販賣　慶南に於て

慶南陸地棉販賣制度は試作當時より何等更改せず依然として指定買收人制度を墨守し農民の不利益甚だ不便鮮からず本年の如く作附反別增大せし折柄例年の如く二名の指定買收人に委すべきは將來棉花獎勵上に惡傾向を來たす恐れあり隣道全南にては本年より解放し良成績を示しつゝある折柄慶南道にても本年より解放する方針に決定せし模樣にて東田事務官は調査の爲め木浦光州に出張調査の上同地より直に京城と打合せの上自由販賣を斷行すべき模樣なり（晋州）

慶南の金融

慶南晋州を中心としての七月中に於ける金融概況に就て栖原殖銀支店長は左の如く語る（晋州）

資金の需要稍繁忙

農繁季節にて例年の如く一般に閑散の狀勢を持續し目覺しき資金の需要を喚起せざりしも米價は依然として昂騰趨勢を辿りし結果米穀商連は奧筋を買漁りしを以て移出方面の資金需要は比較的活躍を極めたり目下の貸出は七十萬七千六百七十八圓七十四錢預金は四十三萬八百四十圓六十三錢なり

慶北の小麥　カリホルニア種栽植

慶北道内の小麥カリホルニア種は大正六年頃より著しく品質も優良となり作付反別も增加して昨七年度に於て實收四萬六千九百六十一石に達したるが八年度はその豫想五萬七千三百石に達する見込なりと而して昨年慶北共進會に出品せしものは其の品位特に優良なりしを以て各道よりの註文紗からず殊に同種の主産地たる黃海道よりは五石の註文を受け京畿道よりは十石の註文を受け更に八日平安南道より五十石の註文ありたり（大邱）

八月十三日

（舊七月十八日）水曜日▲ひのとり▲三碧▲佛滅▲赤口▲のぞく▲軫

▼三碧▲業務上殊に注意すべし

▼四綠▲内輪の丸く納まる日にて上運の日也柔和ならば殊に吉

▼五黃▲金錢上のことか又は男女の關係に拘る喜びごとあらん

▼六白▲進退共に注意すべき日

▼七赤▲成可く爭ひを避くべし

▼八白▲考へた上で進むべき日

▼九紫▲目上の引立あるか又は何か吉き事の不意にある日なり

▼一白▲穩かな靜かな日にて思ふこと、八九分通り叶ふべし

▼二黑▲迷ひを避くべき日なり

わきが

を根本的に快治したいと思ふ人は塗れば直ぐ効めがありイヤなクサミが取れる効力ある學理と實驗とから優秀なる良藥を研究されたる秘法を教へて上げます二錢切手を封入し中込みなさい

◎兵庫縣明石 加古新聞研究所

ぢんぞう炎

腎臟炎に特効の良藥あり同病に困難の方は御報知あれば直に參照す 明石町 天龍堂

稻扱貸　取引

稻扱

郡部各地に貸付す說明書百送料急速稻扱器山本有稽無効代金返還特別提供 大阪難波殖産會社

夏　くは弱る時な　男女用よ有効　壹劑

滋強丸

服用者の實驗を募集多數なり 日見に効能確々せず 胃腸 陰萎 神經 強壯劑 東京京橋築地タイガー商會

急性・慢性 じんぞう炎 糖尿病水腫病

には佐藤のすいくわとう 西瓜糖 のめばキットきく

近時同名粗惡の にせ物 を押賣し顧客を瞞着せんとする奸商あり御買求の節は必ず佐藤ライト商會製の西瓜糖と御指定を乞ふ

定價 金一円 一円五十錢 三円 五円 十円

本舖 大阪市東區 佐藤ライト商會

全國到る處の藥店に販賣せり

金牌受領

登錄商標

本椿香油 男女頭髮用 本椿ポマード

宮内省御内儀初め九條公爵家其他華族方御常用之榮を蒙る

毛を黑く長くつやを出し 赤毛くせ毛ぬけ毛析毛を防ぐ事妙

本舖 大阪西横堀 三宅堂

殺菌性に富める!!

くだりどめ

最新良劑 高貴藥配合

清腸（セイチヤウ）

高橋盛大堂藥局試驗部創製

輕きは一回重きも二回にて大効あり

主効

●腸加答兒 ●赤痢 ●疫痢 ●東急後重 ●疝痛 ●水瀉 其他諸病より起る一切の下痢に用ひて大効あり

特長

◉清腸で、くだりを止めた腹工合のイ、事

價廿錢、卅錢、五拾錢、壹圓、貳圓

本舖 大阪市堂島元蜆橋 高橋盛大堂藥局

發賣 同心齋橋筋博勞町 高橋盛大堂分店

同 東京市神田柳町 高橋盛大堂出張所

同 上海英租界交通路 日信大藥房

●到る處の藥店にて販賣す

處女（しよじよ）の

時に注意せれば 美貌も長く續かぬ

西洋では十六七の處女時代に最もお化粧に身を窶し段々年を取るに從つて質朴にしますが日本では十六七の頃などは殆どお化粧といふ事を頭におきません、それは學校等の關係もありませうが間違つた事で

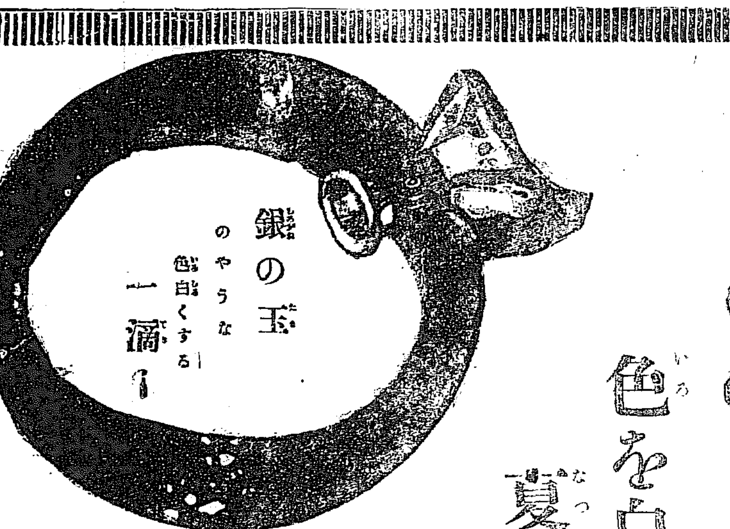
御座います、話り身體の發育のいゝ皮膚の榮養の旺盛な處女時代に十分手を入れておかないと美貌も長く續きません、それで處女時の化粧料としてはホーカー液が何より一番でありませう

美しさ若々しさを長くもつ

東京で一番 良く賣れる 家庭化粧料

ホーカー液

色を白くキメを細かに 夏の肌アレ日ヤケを防ぐ



朝々の一滴

ホーカー液も毎朝日課的に使用されて初めて効果が現はれます使つて行く中にホン〳〵色を白くし顏美しく肌もスベ〳〵と滑らかに致ます結婚前の皆樣には之をお忘れになる事は出來ません

特色

色を白くキメ細かにし肌アレ日ヤケを防ぎ白粉のノリノビを好くし色艶を美しく若々しくす紳士のヒゲソリ後によし子供衆の肌を丈夫にする

定價	
小瓶	二十錢
中瓶	四十錢
大瓶	八十錢
送費	
内地	無料
朝鮮	四十錢

◈處女時の白粉には

理想的な白粉として物理實地の兩試驗に合格した純白無鉛最も衞生的に出來て居る

新發見白さの異ふ

これが一番安全で御座います

ホーカー白粉

◈信用ある全國到る處の小間物化粧品店洋品店藥品店等に販賣す、若し品切れの際は振替か切手にて本舖直接御注文を乞ふ

ホーカースヰート　ホーカー液　ホーカー白粉　ホーカー美髮液

東京神田和泉橋際 本舖 堀越嘉太郎商店

電話 神田 特一四三、長一四四、一四五　振替 口座 東京 一一五六

日本郵船仁川出帆

大連、天津、牛莊行 濟州丸 八月 日正午出帆

高砂丸 八月 日正午出帆

相模丸 八月 日正午出帆

都合ニヨリ早發スルコトアルベシ

仁川海岸町一丁目電話十番 堀回漕店

互光商會汽船出帆廣告

◎元山、西湖、城津、清津行 第三喜光丸 八月 日釜山發 八月 日元山發

◎門司、宇品、神戸、大阪行 第三喜運丸 八月 日元山發 八月 日釜山發

釜山 大池回漕部（電話一二三）

元山 田口回漕店

大阪商船汽船出帆

（仁川出帆）

大阪行 △海和丸 八月十一日正午出

大連、天津行 湖州丸 八月 日正午出

×郡山、大阪行 信濃川丸 八月十三日正午出

（元山出帆）

清津行 安平丸 八月十六日後十二時

釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 宮島丸 八月 日後九時出

（大連出帆）

上海、基隆、打狗行 湖北丸 八月卅一日前六時出

基隆丸 八月十三日前六時出

内地各港出帆主要航路

歐洲行一年四回 北米行毎月一回

南米行一年四回 孟買行毎月二回

濠洲行毎月一回 南洋行毎月一回

御注意

外航路航路案内…連絡切符發賣…客船…

大阪商船株式會社仁川支店 電話二二一〇番五五〇番

朝鮮郵船出帆

大阪組揚等の爲め發著日時變更することあるべし 詳細は本社又は各地支店出張所代理店に付御承合被下度

京城 内國通運會社支店 電話七〇八番

仁川 京城通り開運旅館 電話二六一番

慶尚南 仁川本町 電話四〇二番

▲敦賀行 清津、城津、元山經由

平安丸 八月十二日 清津發

元山丸 八月十五日 元山發

▲浦汐行 大阪發、門司、釜山、元山、城津、清津經由

越後丸 八月廿五日 釜山發 八月廿七日 元山發

▲雄基行 關門發釜山各港經由

平壤丸 八月十九日 釜山發 八月廿二日 元山發

成鏡丸 八月廿四日 釜山發 八月廿七日 元山發

▲元山雄基線 元山起點各港經由 雄基間往復

鏡城丸 八月十二日 元山發

▲大阪行 清津、城津、元山、釜山、關門、神戸經由

越後丸 八月十四日 元山發 八月十六日 釜山發

▲關門行 各港經由 雄基發、清津、城津、元山

成鏡丸 八月十五日 元山發 八月十八日 釜山發

京畿丸 八月廿一日 元山發 八月廿四日 釜山發

▲金剛山遊覽便 元山發長箭石亭經由 長箭行月六回但自六月至十月間

鏡城丸 八月十四日 元山發

▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由

咸鏡丸 八月十七日 釜山發

▲釜山浦項線 釜山發長生浦、方魚津、九龍浦經由、釜山浦項相互より毎日一回供 ○宗信丸○慶寶丸

▲濟州島行 釜山發長承浦、麗水、巨文島經由

昌平丸 八月十四日 釜山發

▲濟州島行 木浦發東廻八所、西廻鳥島莪子島經由

東廻 公州丸 八月十四日 木浦發

西廻 慶興丸 八月十六日

▲釜山麗水線 釜山麗水往復 釜山麗水相互ヨリ毎日一回出發

▲木浦麗水線 釜山行麗水ニテ接續

順天丸 八月十三日 木浦發

▲多島海行 木浦發多島海各島行

慶興丸 八月十一日 木浦發

▲木浦行 仁川發各地經由

江田島丸 八月十五日 仁川發

▲海州行○全州丸○南陽丸 仁川海州相互ヨリ毎日一回出帆

▲鎭南浦行 仁川發各港經由

天陽丸 八月十八日 仁川發

▲大連行 青島行 仁川發芝罘經由

江原丸 八月十八日 仁川發

○朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡ア

本社 京城南大門通（電話長三三一三）

釜山佐藤町 釜山支店

元山海岸通 元山出張所

仁川代理店 堀回漕部

木浦代理店 山野回漕部

京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店

其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

電話長一一七〇

汽車 [illegible]

[illegible]一千六百萬圓に過ぎざりし[illegible]
[illegible]以て輸出七種の重要輸出品檢[illegible]
査を行ひ粗惡品の輸出を防止す[illegible]
[illegible]査を受くべき品種は絹綿、綿織[illegible]
絹フランネル、綿ネル、六[illegible]
[illegible]聯合會又は道府郡の[illegible]
したるもの又は地方長官の認可[illegible]
を受けたるものに非ざれば營利[illegible]
[illegible]日迄に聯合會[illegible]例外こして十月十日迄に聯合會[illegible]
又は道府廳に屆け出で
[illegible]日本輸出絹織同業組合聯合會[illegible]
は本年七月七日其設置を認可せ[illegible]
[illegible]要なる地に檢査所を設け十月一
日より
[illegible]にして且是等の檢査機關なき輸[illegible]
出港より輸出する場合に限らる
ゝのである同聯合會は來る九月
[illegible]組合外四組合より正式
加入を申込
みありた[illegible]道かざる組合は總會）を招集し
その三分の二以上の同意を得て
加入申込を爲すべく若し此機會[illegible]
十一日午後二時大連より關下の
帶菌者
止せられたり（下關電報）

京城日報

立憲的行動に慣れしめよ

協成俱樂部の成立を喜ぶ

朝鮮は古來陰謀の淵叢こ目せられたりき。其のかゝる陰險なる民性を馴致したるの原由は、第一强大國の間に介在して、常に或る一方より、又は双方より壓迫を受くるに對し、實力を以て之に對抗し得ざりしこさ。第二國內に於ける朋黨比周の爭ひ甚だしく、他を排し能はざれば己れ陷せらるゝを免れざりしこさ。第三酷虐なる專制政治の下に立ち、國民こしての權利は毫も認められざりしこ等に歸因するものにして、所謂歴史的産物なるが故に、之を矯正するは實に容易ならずこ雖も、今や上は大日本帝國臣民こして正當の保護を受け、法律の許容する範圍に於いて、何等忌憚する所なく、自由の行動を執り得るの地位に[illegible]せるが故に、從來の側陋陰險なる慣習を一拋し、天地の公道に遵ひ、飽まで公明正大なるを期せざるべからず。

從來總督府の執りたる施政方針は、人民の自由を局限するに在りたるや疑ふべきの餘地なし是れ併合後に於ける實際の狀態が、此の如き一時臨機の措置に出づるを餘儀なからしめたるものにして、決して非難すべきこにあらず。殊に言論集會に對して、殆ご極度の制限を加へたるは、今日に於てこそ種々排擊をも受くれ、之がために朝鮮の治安を維持し、其秩序を保ちたるの功は沒すべからず。然れごも權道は所詮一時の方策にして、以て長久の計こ爲すべからず。近時に至りて總督府が現行法令の下に在りて、特に酌量緩和を加へ、成るべく正道に復歸せんこするの趣あるは、吾人の最も歡迎する所なり。今回改正官制後に於ける方針は、吾人の未だ詳にし得ざる所なるも、現在の實際に徵するさきは、蓋し多くの改善進歩を見るべきを信じて疑はず。

此際に於て少數の知識階級の集團たる協成俱樂部の成立（昨紙參看）を見たるは、最も時宜に適するものならずはあらず。思ふに朝鮮に對し完全に憲法の實施を見るは、何時なるか知る能はずこ雖も、既に朝鮮を以て日本帝國組成の一要素こ認めたる以上は、早晩其の地位を引上げて內地同樣こ爲すは必然の歸結にして、問題は唯時期の如何に存するのみ。されば鮮人たるものは、今日より豫め之に順應し得るの能力を養ひ、憲法の恩澤に均霑して、內地人に對し毫も遜色なきの程度に達するを期せざるべからず。即ち立憲的思想を養ひ、立憲的の行動に慣れ、以て其面目を一新するを要す。而して立憲的思想行動こは、公德を重んじ、權利義務の觀念を明かにし、何事も公明正大の道に依りて解決せんこ要求する者にして、朝鮮在來の陰秘陰險なる思想行動は最も禁物こする所なり。按ずるに今回成立の協成俱樂部の如きは、微々たる一個の社交俱樂部に過ぎずこ雖も、之を濫觴こして朝鮮人民を訓鍊し忠良なる國家の臣民たらしめんこするの意氣洵に壯こすべきものあり。而して其の將に執らんこするの手段は、吾人がいふ所の立憲的行動たるこ勿論なるべきを以て、從來朝鮮の天地に鬱積せる妖氛を一掃し、靑天白日の下に、堂々こして其の主張を貫徹するの期あらんこ」を冀期し、吾人は其の前途に對して、特に祝福せんこ欲す。思ふに朝鮮各地に於いて、此風を聞いて興起するもの、決して少からざるべきを信ずるなり。

産米增殖問題こ朝鮮（五）

黄海社々長工學士　松山常次郎（寄）

四、河邊草生地の開墾

朝鮮に於ける未墾地には干潟地の外に河邊草生地がある、河邊草生地の面積は總督府の調査する所によれば約七萬町歩あるこ云ふ事である

朝鮮に於ける山林の荒廢は周知の事實である。從つて河川も亦荒れて居る山林に樹木なきが故に一時水が出る、土砂を押し流す、雨期こ乾期こに分かるゝが故に平素は乾涸こして雨期には大水が出る、朝鮮の河川は洪水時氾濫狂溢を其特性こして居るかゝる河川の兩岸には所謂河邊草生地なるものが多い、年々洪水を被るが故に沖積土堆積して甚だ肥沃である、之を開墾して麥でも作るならば極めて見事なる出來榮を見る然るに其收穫に近づき大雨に際して洪水の氾濫を被るならば忽ちにして收穫皆無の厄難に際會する、斯の如き實情の下に肥沃にして廣大なる河邊草生地が唯草刈場こしての外に利用せらるゝ事なくして今日[illegible]れてあるのである、此草生地を開墾して水田を開く爲には防水堤防を周らして洪水の侵入を防がねばならぬ、河邊草生地は多くの場合に於て河に近き部分高くして奥地に入るに從つて低窪地こなつて居る、之れ洪水に際して氾濫する泥水が土砂を河身に近き部分に多く沈澱堆積せしむるが爲めである、之れに內部の低窪地は排水作用行はれ難く濕地或は沼澤地こなる場合が多い、故に河邊草生地を利用せんこする場合は內部の排水工事に深き注意を加へねばならぬ、洪水中は堤外の水位堤內の水位より高きが故に排水門の作用一時停止せらる、此の滯水の爲めに內部の作物を害せざる樣工事の計畫を立てねばならぬ、河邊草生地の開墾に於て灌漑水の供給は自然流入法によるかポンプ揚水法によるか其場合に應じて判斷せねばならぬ、右利にして廣大なる草生地は大河の下流に多きが故にかかる場合はポンプ揚水法によるを通常こする斯くの如くにして獲たる水田は最も優良なる米作地こなる、朝鮮の水田は肥料を與へず作り取りの一方である所謂掠奪農法が行はれて居る、干潟の干拓せられたるものは其地層中多くの有機物を含有すれごも始め數年間塩分の含有多きが爲めに充分なる收穫を見る事が出來ない、此事は事業資金の運轉上困難を覺ゆる所である、河邊草生地の開墾せられたる水田に於ては此兩者の缺點を有せず其長所のみを有するが故に最も理想的の農場こなるのである、

今既墾田を買收する場合こ新に開墾地を作る場合この利害を比較するに當り川佐農場の實例を茲に引用せん。

川佐農場は約六百町歩の干潟地を干拓して約七十六町歩の貯水池こ四百三十町歩の畓を開いたのであるが其接續地に於て約三百町歩の畑地を買收し約四百町歩の國有山地の貸付を受けた此山地は植林を終るこ共に無料拂下を受くる事になつて居る。其防潮堤防の前面は約百五十町歩の干潟地であつて滿潮時には魚を漁るべく潮時には牡蠣、鰻の類を捕獲する事が出來る。即ち此農場に誂へ向きの御數池である。四百卅町歩の山林百五十町歩の畑地四百町歩の畓三百町歩の干潟池七十町歩淡水貯水池を包含する約千五百町歩の集團地は一點他人の所有地を含まざる一大農場である。

之れは干潟地干拓の實例であるが河邊草生地の開墾に於ても略々之れこ同樣なる要件を具備させる事が出來る。此の如き理想的なる農場を開かんこ欲せば新に開墾するに限る。朝鮮に於ても數百町歩こ纏つた畓を買收し得る機會は稀有の場合に過ぎぬ。一口になつた數百町歩の畓も五町十町こ點々散在する物を常こし他人の土地を混へざる集團地こ云ふものは滅多に有るものではない況んや山林畑地等を包含する廣大なる農場おや。

感傷詩人　ピエエル・ロテイこ其藝術（四）

古垣鐵郎

聽て、其年も半ば過ぎて九月が訪れた。氷島人等はほつく歸つて來た。彼女は毎日港に出て夫を乘せた『レオポルディヌ』號の著くのを待つた。然し其船は却々姿を現はさなかつた。日はずんく經つて行つた。いつしか九月の末になつてゐた。寂しい村雨毎に枯葉はハラ／＼こ散つて行つた。漁夫等も、許嫁等も戀人等も皆歸つて來てゐたそして、到る處に『樂しい愛の二度目の春の悦』があつた。やがて九月も暮れてしまつた。十月になつても彼女の待つてゐる船は歸つて來なかつた。彼女は心が狂ふ樣に感じた『食事もせず、眠る事も出來なかつた。

彼を乘せた船は氷島の沖で難破したのであつた、そして彼が以前に口癖の樣に『俺は海こ結婚するんだ』こ云つてゐた壯嚴な恐ろしい海この結婚式が行はれたのである。次に最も嚴かな最後の一節を引いて見やう。

『彼は終に歸つて來なかつた

八月の或日、彼方、陰鬱な氷島の沖合で、凄じく荒狂ふ響きのなかで彼こ海この結婚の式が擧げられた。

曾ては彼の保姆であつた海、彼を搖り眠らせ、彼を大きな强い若者に育て上げた海やがて彼を立派な男らしい姿に於て彼女の胸へ取りかへした海、その海こ彼このこの恐ろしい結婚の式をば深い神秘が包んでゐた。その間ぢう醜い面紗は彼等の上に亂れ騷いだ。搖れ動く戶幃は彼等の祝ひを隱す樣に廣げられた花嫁はたわず大きな怖ろしい響きをたて彼の叫びを消すやうに話し掛た。彼は自分の肉體の妻、ゴオを思ひ出して、巨人のやうな力でこの死の新妻こもがき闘つた。か、やがて力が盡きて、死にかゝつた牡牛の樣な大きな深ひ叫びを立て・腕を開いてこの新妻を抱くこ、もう、彼の口には水が溢れ、腕は開き、伸び永久に固くなつた。

年中無休刊

本紙定價　一部金參錢　一箇月七十五錢▲郵税壹箇月拾五錢
前金▲參箇月貳圓貳拾錢▲六箇月四圓三拾錢▲壹箇年八圓四拾錢
廣告料　五號十四字詰一行一圓五錢
特別二號　一二號七字詰同二圓▲四號九字詰同二圓▲三號八字詰同二圓五十錢▲六號十六字詰同一圓
京城太平通一丁目
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　合資會社京城日報社
電話番號　長六千九番　二番
振替京城三〇〇番

錬膽錄

船子こ夾山（上）

三笑生

◇船子德誠和尚は、節操高邁、度量拔群を以て稱せらる、英傑である。曾て藥山惟儼禪師に侍することゝ三十年にして、其の法を嗣ぎ、秀州華亭にあつて、一小舟を泛べ、往來の人を渡して緣に隨ひ機に應じて法を說いた故に時人呼んで、華亭の船子和尚こ云つた。

◇同參の道吾、雲巖の兩和尚こは、最も親しく交はつて居たが、既に法を嗣いで、藥山を辭するに臨み、和尚は、其の二人に向つて『公等は各々一方に據つて、藥山の宗旨を建立するがよい。自分はもこ疎野で、只だ山水を好み、情を樂しましめて、自ら遣る外には更に能がない。就ては公等に於て、一人靈利の者を見出して、自分の處に遣はして貰ひたい、自分はそれに法を傳へて、先師の恩に報いようこ思ふ』こ、互に袂を東西に別つたが、そのまゝ秀州の華亭に、小舟を泛べて、渡守をするに至つたが、誰も其の高踏の偉人たるを知るものはなかつた。

◇船子和尚こ別れた道吾和尚は、其後京口に到つたが、偶々夾山和尚上堂の會に遭つた。道吾は、夾山こ或る僧この問答を聽いて居つたが、覺えず失笑した。夾山は何の見る處があつたか、直ちに高座から下りて來て道吾に向ひ『適來、私が僧この問答に、那處か不是なるものがあつて、上坐の失笑を買うたのか、上坐、幸に慈悲を吝まず指示せられよ』こ叮嚀に詰問した流石は後世名を爲した和尚、一山の住持の身を以て名も知らぬ新來の雲水に敎へを乞ふた。是れは、道の爲めに我慢を折つたのである。こゝ等は俗人には一寸眞似の出來ぬ所の消息であらう。

◇此の新來の雲水は、實は既に藥山の法を得た三界獨歩の和尚であつたのである。道吾曰く『和尚は一山の住持に出世すれごも、まだ以心傳心の正師を得てゐないであらう』こ、夾山がいて『我が爲めに不是處を說破せよ』こ云ふこ『イヤ自分が說くことは且らく措く、和尚若し聞かんこ欲せば、去つて華亭の船子に就いて問へ、但し船子和尚は、上に一片の瓦なく、下に錐を卓つるの地なき人、和尚若し往かば服を易へ尋常行人の如くにして往つて訪はれよ』こ、是れは道吾が船子この約束に依つて、船子に唯一の法嗣を推選した譯であつた。

果實青物
海產物委托賣買
委托品は確實迅速に御取扱可申候間
多少に不拘御出荷被下度候
京城南米倉町市場
貿易問屋　㊉　岩城商會
振替京城一〇〇六番　電話八四二番
紀州柑橘組合指定問屋
蓬萊生命保險會社代理店

測量員速成講習錄
官衙及工業界に最も需用多く最も望なきを測量技師さす本校は速成三ケ月修了の講習生を募集す
規則無代進呈　東京市京橋區南傳馬町二丁目　通信工手學校

名物
▲風味佳絶　鮎の粕漬
是非一度召シ上レ夏ハ夏ラシク
アッサリトおいしく危險ノナイ
當店特製鮎ノ粕漬ニ限ル
德用大箱詰　參圓
松印化粧箱詰　二圓
梅印同　一圓九拾五錢
本月中旬の發送　伊勢國宇治山田市吹上町
大成堂
振替大阪四九四四九
直行飛ブが如シ
特約販賣店募集
京城三ノ各井町　中田常成社
電話二二〇五番　振替京城四七六二

赤玉ポートワイン

朝夕の一杯は百藥に優る

世界改造の端緒は開かれ
國事は益々多端を加へんとす。
而も强者優勝、弱者劣敗の
義は切實に感ぜらるゝに到れり
此時に當りて健康者は勿論
病弱者、及び婦人に至るまで
赤玉ポートワインを常用し
以て體力の回復增進を計り
國家の要求しつゝある所の
各自の本務に奮鬪努力
せん事を希ひて已まざるなり。
健康!!　努力!!

類似品多し　赤玉印に御注意を乞ふ

品質第一
銘酒瓶詰之一大權威
全道各地之需要激增

大阪府堺町
宅合名會社
攝津灘工場吟醸

最新刊
書名　著者　定價　送料
安部磯雄　勞働問題　一圓八十五錢　八五
國界の皆済石上玄之助　五〇
運動年鑑　朝日新聞
思索と體驗　西田幾太郎　一、〇〇
辯話會議な目醒して　中野正剛　二、〇〇
現今兒童救護の實際　一、七〇
德富蘆花　大郎著　定價一圓六十錢
◎死の陰に
女の旅　乘文子　二、〇〇
勞働者セリイオブ中島　一、二〇
一人の女　新渡戶稻造　一、五〇
能力發現法　檜山鐵心　一、五〇
水滸傳物語　大町桂月　一、〇〇
部問　數治者
◎鮮譯國語大辭典　特價四圓　送料二十七錢
朝鮮金石總覽上下　二六、七〇
朝鮮圖書解題　同　二、七〇
京城本町一丁目
大阪屋號
電話六八二番　振替京城二五七番

左官建築材料
セメント　石灰
左官材料一式
各種色土砂
各布海苔苆
左官用東京鏝
各種塗料用品
建築材料種々
火山灰硅藻土
各種耐火煉瓦
各種煉瓦土管瓦
防水劑
鑄工製鐵所用品
小野田セメント會社製
不壞支社製
石灰特約販賣
京城瓦斯電氣株式會社製
瓦斯コークス
コールタール特約販賣
九州火山灰　合資會社　代理店
京城旭町一丁目　電話長九八四番　振替六〇八六番
卸商　戶澤商店

京日案內
普通　一回前金　七十錢
▲申込後中途掲載中止は料金不返戻
▲六回以上の申込は特に割引の事
▲照會は返信附に非ざれば回答せず
普通
番外

▲讓店
料理店にして市內目拔の場所にあり
今回歸國に付居抜きの價格安に讓り度し（姓名在社）

▲內地へ賣逸セル▼
サフラン種球　實費分讓
詳細紹介後下度候
元山府外臥牛里　川崎農園

高給外勤社員採用
希望者は履歷書持參午前中來談
京城黃金町（若草通）
太陽生命保險會社京城支部

店員募集
菓子店に經驗ある者至急來談
義州通一丁目
菓子卸商　吉門商會
內地人三名
廿二三迄

店員入用
十四五より二十前後
小學卒業
但市內に身元保證人ある者本人來談
京城本町一丁目
ますや洋服店

年金恩給
低利五ケ年分
即時御立替
京城水標町
西本願寺裏門下角
江州屋本店

▲活字　製造販賣
活版材料一式
京城明治町二丁目　電話三〇四〇番
竹內活版製造所

優等旅館
京城西大門町二丁目
高等御下宿
電話一〇三
京城中學校前
電話二六二〇

リ市暴動詳報

各種商店襲擊＝軍隊の一齊射擊
就縛者三百名＝總同盟罷業決議

多數の婦人を加へたる數隊の暴動は三日夜半を合圖としてリバープール市の物價騰貴街頭に於て組織的に主として雜貨商食糧品商寶玉商靴商及び衣類商等の店舗を襲ひ掠奪を行ひ思ひの儘に物品を持出し婦人小兒は人道の敷石上に坐し格好の靴衣類を選り取り不似合の品はこれを投げ散らしたり樂器店より總璞かのピアノ引出され掠奪者は街上に於て音樂會を催したり食糧品店を襲ひたる一隊の暴徒は兵士探偵私服巡査より成る警官隊に包圍され警官は棍棒を振ひて掠奪者を逮捕せり或地點にては軍隊は一齊射擊を行ひたるも負傷せる者なし掠奪者は警官の攻擊を受けたる際裏道に逃れ出で再び本通りに戻り來りたり掠奪及び暴動は午前四時を以て終熄したるも三日朝よりボリハール街五酒店の襲擊を機こして再開せられ兵士之を鎭撫したるに二の自動車搬車來りて其の掠奪者全部を逮捕し去りしが熱狂せる群衆は兵士に投石し兵士は群衆の頭上を目掛けて發砲せり一名の男子は自動車搬車に縋り付き兵士の銃劍捩ぎ取らんと試みたるを以て兵士は空砲二三發を發射したるも群集には何等の効果なかりき故に更に群集に對して二發の彈丸を發射せりために男子一名卒倒し人事不省の儘病院に收容されたり夜半より正午までに捕縛されたる者合計三百名に達す補充として二千六百名の兵士更に市中に到着し龍騎兵士は市中の重要なる箇所を保護せるが官憲は秩序を維持し得るの確心を有し居れりリバープールに於て勞働黨の會合開かれ警官組合に同情し且つ政府の勞働同盟攻擊に對抗するため總同盟罷業實行に決したり（倫敦電報）

佛條約批准

佛國下院講和委員會は首相クレマンソー氏の說明を聽取したる後八月一日一對三十二票の多數を以て講和條約を承認せり而して下院の討議は八月二十五日を以て開始せらる、筈なれば愈々講和條約の批准を見るは九月半なるべし（巴里電報）

米上院條約公開

米國上院は講和條約に關する報告問答を公開せり斯の如き意見の公開せられたるは之が嚆矢とす（華盛頓電報）

米國務卿の報告

米國ランシング卿は米國上院に於て山東に關する秘密條約の存在を知らずして石井ランシング協約を締結せりと報告せり（紐育電報）

伊對米石炭輸入

羅馬來電＝伊太利政府は米國より三十萬噸の石炭を輸入すべく腹を注文せり（倫敦電報）

匈國內閣總辭職

匈牙利內閣は又復總辭職し聯合國委員は大公ヨセフを主宰者とし大公は前陸相を首相に任命したり尙聯合國委員は新內閣と交涉を開き現下の諸問題に就き協議一致し其の結果を巴里に報告し來れり（シドニー電報）

羅軍ブ市境界著

ブタペストよりの報道によれば羅馬尼軍隊は同地境界に到着し陸軍大臣ハルウエリツと及び市長に會見せり羅軍總司令官ルレスクは宣言して曰く羅軍は同地境界迄匈牙利國を占領すべく命令せられたるのみにて同市を占領するの命令に接し居らずと（コツペンハーゲン電報）

聯合對匈國要求

聯合國は在ブタペスト聯合國代表へ宛て無線電信を以て聯合國は其行動に依りて新匈牙利政府の可否を判ずべく新政府は昨年十一月の休戰條約を履行せざる可からず而して右條件の履行を見る迄羅馬尼軍は現在の位置に殘留すべし匈牙利政府は右の通告に回答して該休戰條約を實行すべしとの意を表白し且つ聯合國より十個聯隊の軍隊を派遣せん事を要求したり（巴里電報）

海外貿易前途

我國今後の對外貿易に關しては[illegible]當局の觀察[illegible]回復すべしと想像せるも最近海外よりの各報告を綜合する時は[illegible]材料は却つて多[illegible]要こし密偵子の如きも佛國より白耳[illegible]對し四千萬平方米突御[illegible]しかも自國生年以上の生產額に輸[illegible]底[illegible]外の輸出を遂に許さゞるべ[illegible]し加之歐洲各方面勞銀の昂騰は我國の二倍三倍に相當し從つ[illegible]にありては生產費[illegible]ばざるものは別とし本邦にて相[illegible]富優良なる品を貴もし得るもの[illegible]

匈牙利國旗掲揚

ブタペストに於る赤旗は大半撤去されたり二日朝一團の市民は盛んなる喝采裡に各官衙に匈牙利國旗を掲揚せり（ペスト電報）

韃靼人反逆煽動

タイムス紙のコンスタンチノープル特電に曰く土耳其士官は露國過激派主義宣傳のためアルメニヤに於てダツタン人の重大なる反逆を煽動せり若し今日英吉利がトランス高加索より撤退せば土耳其人はダツタン人と共力してアルメニヤ共和國を破壞すべし（倫敦電報）

孟氏暗然として去る

今後は軍器と關係を絶たん

孟氏が天津に向け出發せるは既電の如くなるが同氏は十日午後五時家族全部を隨へ副官秘書官護衞兵及見送りの有志者等約八十名にて吉長鐵道にて長春驛に來着し吉長鐵道公署に入り十時半自動車にて滿鐵長春驛に到り先着の見送り人其他に挨拶を爲し直ちに孟氏專用の寢臺車に入り發車迄窓より顏を出して各人に謝意を陳べ至極機嫌よく裝ひ居たるも折に觸れて萬感胸に迫る如く眉間を曇らし居たり斯くて十一時發南行せしが十一日奉天にて張氏と會見の上十一日夜天津に向ふ筈尙變鎭守使は奉天迄同車見送りたるが一面第一師長の件に關し張氏の諒解を求むる爲めなりとも云ふ孟氏は最早老體なれば北京にも行かず今後は軍界との關係を絶ち天津にて安樂に餘生を送らんとの旨語り居たり（長春特電）

孟氏奉天に到る

豫てより晋京の途次來奉張巡閱使を訪問し舊交を温むべしと傳へられたる孟恩遠氏は十一日午前八時四十分少數の從者を從へ滿鐵列車にて來奉せり驛には張作相中將鮑明少將等多數の出迎へあり孟氏は平服に麥藁帽子を戴き下車出迎ひ各員に挨拶し直ちに自動車に搭乘多數兵士に護衞せられて城內に入れり其滯在期間は目下の處不明なり（奉天特電）

高士儐南行

高士儐氏は孟氏南下の際同伴すべしとの說ありしが張派密偵の身邊を窺ひ危險なる所より孟氏に先ち十日正午發列車にて日本服の紹羽織を著して姿を變へ窃に南行せし模樣ありとも云ふが或は大連方面に逃れたるに非ざるか尙ほ家族等は附屬地支那旅館に滯在し居れり（長春特電）

齋藤新總督語る

眺望爽々しき四谷自邸にて

滿庭の葉影をかすめて颯と坐る涼風に新總督と確定せる齋藤男は晴やかに輝く此處四谷仲町の高臺に谷一面を見晴らし眺め爽々しく晴に纏ふ裡に平和を語り顏じある『いや內定はしてゐるが未だ發表が無いものだから何時渡鮮して好いのやら皆目見當が付かぬぢやテ一日も早く行く方がよいとは誰も思ふてはゐるが例の發表と共に總督任官も各方面に亘つて多いものぢやから夫等の事も今の內によく取極めて置かねばならぬ、殊に總監を選するといふのじやから一日たりとも無警察狀態となつてはならんので今の處是等の點も隨分と研究してゐる、元來俺は朝鮮といふ所を知らんのじやからのう明治三十九年に一寸鎭海灣まで行つた事がある、夫から大正二年に平壤まで海軍の石炭の事に就いて行つたが全然視察するといふ樣な餘暇はなかつたよ、平壤から歸りに京城に一泊したがそれも丁度山縣總監の勸める儘に泊つた位で京城の見物もせずに歸つたんだやテ、愈行くこととなる子息は前學習院の高等科で來年は大學にでも入れやうと思つてる位だから先づ盃の留守居を命ぜるとしても家內は連れて行かうと思ふて居る、然し突然に行くやうになれば一人で先きに行かねばならぬのが前にも云つた樣に朝鮮に行く樣にはなつて居て未だ發表は無いし隆道を迎へてゐるやうだから先日も宇佐美內務部長官から種々の話は聞いたもの、何分のお話は出來ぬじや無いか、子供を殘して行つたら當分淋しいだらうテア、…諦方が無いじやないか、しかし今でも寄宿舍に居るんじやからのう。俺の趣味か、是れこそ無趣味で駄目だよアハ……』折柄樣で命ぜられた自動車は漸く動機の響も忙しく玄關先きに据付けこなれば服裝を改めた男爵は輕く會釋して直ちに車上の人となつて首相官邸へ（東京特電）

鮮滿片々

日糖技師長來壤

日本精糖會社では愈々近く平壤工場の基礎工事に著手する事となつたから其の指揮監督の爲め同社取締役兼技師長澁全雄氏は七日午前入壤した滯在日數は約三週間であると云ふ（平壤）

秋繭共同販賣

全南羅州郡蠶業傳習所は來る二十二日並に二十四日の兩日同所じ南半面は二十三日二十四日兩日同所事務所で秋繭の共同販賣を爲すべく其の販賣石數は百五十石である（光州）

城津の移出牛

城津港に於ける牛牛移出は最近漸く旺盛を極めて來た去る二十九日出港の京畿丸で牝牛三十頭を下關へ移出した價格は一頭平均約百圓弱に相當する尙二日出港の平安丸で敦賀へ百二十頭又三日出港の雄基丸で下關へ三十八頭を移出したが全部牝牛で其の價格は百九十八圓を示し價格は益々昂騰の傾向である（城津）

白豆の大奔騰

客月二十九日神戶入電に依り滿洲白豆は大奔騰を來した目下二十八圓の高値を唱へ尙一段高氣配であり何分品薄の上に奥地原產地拂底の爲め突飛値を出すのである今度の再高値の原因は北米道米國等の本年狀況不作を豫想したのと咸北地方の減作を見越して思惑をしたからである（清津）

輕鐵と重役

朝鮮輕鐵會社では今回配當補給八朱の指令に接し積極的に經營を進めんとする折柄同社內部刷新並に經費節減の意味に依るのか其他の理由あつてか牟田口社長野村取締役石丸、鈴木、中野の諸氏監査役宮崎政吉氏等連袂辭任書を差出したと（大連）

東清列車聯絡

從來長哈間列車は鐵道の不定當に運轉を爲して居たが南滿鐵道は八日午後十一時五分長春發の哈爾賓行き列車より定期運轉を開始し滿鐵線との聯絡を爲して居る（大連）

吉林兵逃走

支那陸軍兵の給料は年四回に分配される筈だが吉林軍では目下給與期であるが然るに給料を受けた兵士は病と稱し又は居に逃走するものが多い而して樺甸方面の馬賊の群に投ずるらしいと云ふ（吉林）

張督邸內虎疫

滿洲の虎列拉は益々猖獗を極め張巡閱使邸內にも六名の死亡者を出し五日日本醫師を招いて邸內に隔離所を設けて大消毒をした（奉天）

海陸聯絡會議

滿鐵本社では八日午前十時から會議室で海陸聯絡會議を開き中西部運輸部長大藏副部長貝瀨營理局長庄內外關係課長所長主任出席同設備施設擴張改善荷役問題其他に就き打合せを爲したり（大連）

新橫斷航路

日本海航路は郵船の經營の外に境元山間不定期の山陰丸が之に當たつて居るが今回北陸代議士連の運動の結果愈々新航路實施の事に決定し取扱及び補助總督府から六萬圓富山石川兩縣から四萬圓計十萬圓を出し富岡市立花大卦兩氏經營の丸二汽船會社に補助し伏木港を起點として七尾浦潮清津間を月二回往復航海すべく汽船は二千噸級を使用することになつて居る愈々新航路實現の曉には清津方面の出荷を獨占して居た朝郵の影響は可なり大きいであらう又丸二會社も城津方面迄出荷を引合せの爲め來航する模樣もあるから日本海上の商戰は刮目すべきものがあらう（元山）

條約正文著期

講和正文を載せたる伏見丸は廿二日橫濱に到着す可し（東京特電）

官期叙位

十一日文武官定期叙位の御沙汰あり內佐藤鉄、小松輝久、山崎四男六、淨法寺五郎四氏は從三位に叙せられたり（東京特電）

陸相日光伺候

田中陸相は十一日日光行在所に伺候し兩陛下の天機並びに御機嫌を奉伺したり（東京特電）

首相官邸協議

齋藤男及び水野博士は十一日午前十時首相官邸に原首相を訪ひ官制改革實施に伴なふ要件に關し鼎坐協議し兩氏は十一時辭去せり（東京特電）

鮮鐵荷動狀況（四）

七年度に於ける

▲食料品　鮮人生活程度の昂上により需要增加し殊に農產物の價格昂騰により購買力增進し內地品の移入頗る殷賑を呈し罐詰類は其の大なるものにして鮮內の荷役多く殊に酒造原料朝鮮麴の荷動き又多く殆んど前年度に比し十五割を增加せり

▲麥粉　穀價の昂騰により一般農民の購買力增進し多食料として需要多く三割七分の增加を示せり

▲砂糖（四千百四十五噸增）內地人移住增加及鮮人生活程度の昂上に依る需要增加は其の主因にして前記穀價騰貴に依る購買力の增進並來年度に於ける消費課稅事實說に下半期大口買付盛なりし又其の一因と見るべし

▲薪炭　價格の昂騰に產地搬出漸く緊く而して本年度の需要は一層之が需要を助長せり

▲繩叺　前述穀類の出荷激增に伴ひ本品の需要又增加せり而して之が供給は其の筋の自作自給獎勵により鮮內各地產額著しく增大したりと雖も輸移出穀類の包裝檢査嚴重にして朝鮮產原料良好ならざる爲勢ひ內地產優良品の移入を促進し各港經由搬入旺盛を極め約三千噸を增加せり

▲肥料　其の筋の施肥獎勵により鮮人の需要漸く增加し又近時有利なる桑栽桑の隆盛に伴ひ其の生產增加し內地移出盛なりし總數に於て約三千五百噸を增加せり

▲牛（八千三百一十頭增）初頭來牛の內地移出は頗る活氣を帶び下半期に於て鷄口疫流行により一時輸送中止せられたるも總數に於て六割餘の激增を示せり而して這は二歲より五歲までのもの多く食用多しと雖も近時生牛の內地移出益旺盛なるは半は農耕用として使用せらるる過內地產に比し價格に於て既に格段の差あり而も朝鮮產は性質溫順にして耕作に最も好適し居るを以て需要は增加せるは勿論又一面鮮內に於ける諸事業の結果其の生產增加は大なる原因と見るべし

▲石材及石灰、セメント、土木建築界の活躍により荷物好況を呈し就中西南浦二浦三浦工場建設用の大口需要あり西部朝鮮沿岸に於ける水產業の發達により生產增加し又漁具類一般の購買力增加並に陶磁器、家具類、石油罐、石油燐寸、紙類等の何れも多大の增加を示せり

減少貨物

▲大豆　前年度後半期に於ける內地相場强硬なりしため當時移出旺盛にして本年度への繰越頗る僅少に加ふるに本年度出荷盛期に於ける滿洲線發に於ける軍需影響に二萬六百九十噸を減退せり

▲麥　米價の暴騰により常食用として產地に於て消費せらるるもの多く荷動き閑散なり一萬三千百八十八噸の大減退を示せり

▲石炭　一萬三千五百餘噸の減退を示せるは平壤鑛業所發鎭南浦著無煙炭に於て人夫の供給不足或は軍事特別の輸送の影響により輸送減其の主因にして無煙炭の如きは右特別輸送中こ雖も當局は工業界に於ける石炭の供給不足は事業上に及ぼす影響甚大なるべきを考慮し特に優先取扱をなしたる等により鮮內に於ける需要炭の輸送は前年度に比し却て多大の增加を示せり

▲綿布類及綿絲　東清鐵道貨物の輸送制限の大宗たる本品は同線の輸送制限及價格暴落により減退甚しく殊に滿洲線行き銀相場の變動甚しく取引頗る困難なりし爲め前者は七千六百五十四噸後者は五千八百七十四噸を減少せり

▲豆粕　上半期に於ては原料大豆奥地搬出意の如くならず且つ米國豆油輸入禁止により各油房の一齊生產手控へありし又後半期に於ては油漸く販路開け豆粕亦內地移出頗る良好なりしと雖も二月の交より安東廻航船腹の增加により船便に轉移するもの多く三千七百七十八噸の減退を見たり

▲黑鉛　需要最も多かりし米國に於て輸入過剩を告ぐるに至り相場頗る暴落し殆んど採掘不引合となりて價格割安なる土狀黑鉛の如きは事業中止の止むなきに至り出荷不況を呈せり

其の他鹽干魚、鮮魚は軍事輸送の影響を受け酒類は露國の禁酒令により東清線行皆無となり綿は全南に於ける棉花の不作により荷動き良好ならず何れも多少の減退を示せり（完）

獨逸難色無し

日本には好感

休戰と共に獨逸に入り込み伯林其他各地を跋涉し國內を視察し最近歸朝せる某海軍武官の語る處に依れば目下獨逸國民等は他國にて想像する如く食糧品其他物資の缺乏に依りて左のみ苦痛を感じ居らず何となれば伯林政府は麵麭及び其他日常生活の必需品に對し夫れ〴〵

價格を公定

し之れを一般新聞紙に廣告し人民は其公定相場により物品を購ひ又麵麭の如きは切符によつて一定價格に依りて購求するを得るが故に之が爲め毫も紛擾若くは困窮の聲を聽かず然れども衣類其他一般奢侈品は頗る騰貴し衣服の如きは戰時中發明の材料を用ひつゝあり開戰以來幾百萬の壯丁は厳めしき武裝を爲し東西戰線に赴きたるが平和克復と共に各郷里に歸還せる軍人等は決して軍服を著用せず一般人と同樣の服裝を爲し街上軍裝の武人を見ること稀なるに至れるが此は軍國主義の名の世界に喧傳されたる今日獨逸としては頗る奇異に感ぜらる此は一面に於て獨逸國民性として彼等は軍國主義を拋棄して之れより臥薪嘗膽軍備の代りに

經濟的地步

を固めんとするもの、如く卽ち平和後經濟戰に於て打勝たんとするものなることを窺知するを得べし目下キール軍港地方は聯合國海軍委員出張して嚴重なる監視をなし居るを以て獨逸人等は該方面に足を入るゝこと稀なりライプチッヒ市に工業博覽會開催中なるが此は戰時中物資窮乏の餘り種々なる材料を以て代用品を發明製作したるものを陳列して一般人民に觀覽せしめつゝあるが政府は將來も同樣獎勵する方針なり官民は日本人に對して比較的好感を有し居れり（東京）

京畿旱害調査

京畿道廳にては農作物の旱天被害程度に就て各郡に報告を徵しつゝあることは既報の通りにて其全部の報告の到達は今後尙數日を要する見込みに附き其上ならざれば一般の被害程度を適確に知るを得ざるも今日迄に到達せる始興郡坡州郡等に就て全作付反別に對する旱害程度を見るに左の如し

	坡州郡	始興郡
水稻	七割	六割
陸稻	三割	十割
粟	六割	五割
豆	八割	七割
蔬菜	九割	五割
棉	三割	三割

內地染料騰貴

最近內地染料界の狀況を聞くにインヂンゴヴリウは內地染料製造場にては製造不十分なるに搗て加へて平和を見越し海外輸入約條變更の爲め手控へ勝の處へ奥地染の盛期に入りし結果愈々缺乏し戰時狀態の時代より約三割高を突破し今や全く品薄狀態となれり加ふるに品柴の原料マゼンタは到底獨逸製の如き優良品を製造する能はざるのみならず何處も拂底を來し戰時最も高かりし頃の二倍强の高値を稱ふるに到れりと

滿洲栗頭打

滿洲栗は旱天の連續を强材料に頭に買進まれ最近數日間に約四圓方の昂騰をなし海城物二十圓の高値を現はしたるも餘りの高値に漸く買躊躇の姿となり昨今十九圓を唱へ居れり目先降雨の有無は其騰落に關する所少からざるべし

由比中將著青

新任青島守備軍司令官由比光衞中將は十日午後一時西京丸にて無事著任せり官民多數及び兵士學生等は埠頭に堵列して歡迎せるが時局柄青島官民の意氣頗る緊張せる事とて歡迎熱烈を極めたり（青島特電）

奥田少將著期

內野中將の後任步兵第四十旅團長奥田熊少將は七日午前九時發列車にて來任に決定したるが當日は管下部隊驛前に堵列すべく旅團司令部に入りたる後は宇都宮第三師團に至り各將校の伺候を受け翌十六日は宇都宮師團長の部下各將校の伺候を受け翌十六日は淨法寺師團長に著任の申告を爲し各方面を歷訪著任の挨拶を爲すべしと

株好況

京城にてツルチユク釀造株式會社の株式は十一日締切りに於て公募せし漢城銀行並に百三十銀行支店に拔ひ概算各三千鮮銀約七百にて七千頭の數を示し何れかと云へば好況を呈したり尙東京大阪の募株と合はすれば募集株數の約十倍に達し居るべく募入は多分一割見當ならんと觀測されたり

○一高旅行團入城

第一高等學校西伯利旅行團は浦鹽上陸後烏蘇里線視察を中止し哈爾賓に直行したるが一行中に病者を生じたるを以て同市に下車したるところ其翌日より東清鐵道從業員の同盟罷業起りたる爲め旅程を續行する能はず約半箇月間止むなく同地に滯在し、旅程を打切りて歸途に就き途中吉林方面及奉天大連の各方面に赴きたるものを除きたる十八名は菅沼鈴木兩教授監督の下に十四日午後七時三十分京城著、當地を最後の視察地として二日間滯在の筈

○奥田氏旅行

本社地方部長奥田直毅氏は去る五日仁川港出帆の晋州丸に搭乘五道沿岸汽船旅行の途に就きたるが十三日歸城の豫定なり

鳥瞰錄

近著の獨逸新聞ターゲブラットは露國皇帝及皇后の存命說を傳へてゐる▲曰く露帝は革命の起つた日間に紛れて皇后と共に密にツワルスコエセーロ宮を拔け出でた▲そして其に從ふ僅かに一名の侍者あるのみで身を窶してクリミヤ半島に遁れ或る寺院に潜かに僧侶となり皇后も僧尼となつて淋しく暮してゐるが當時英國だと或る西伯利を經て半島に逃つたのも既に之を保護してゐるのも英國だとか某氏の談に同じく觀察して歸つた某氏の談に所謂『セメヨーノフ將軍學兵當時は滿洲里で僅廿名の手兵を有するに過ぎなかつたが所謂陵に一城を拔き夕に一壘を陷れるといふ勢で見る〳〵極東三州に牢乎たる大勢力を扶植し今では押しも押されもせぬ一方の覇者たるに至り部下の手兵も僅に三萬內外を算するに至つた▲それに容貌魁偉で條風四邊を拂ふの槪あり、ありし昔の諸英雄も斯やと許りの思がある▲第一次のカルムイコヲ將軍は之と打つて變り風彩の至つて揚がらぬ小倭漢に過ぎないが其慓悍さと云つたら又無類で嘗て日本の一將校が馬一頭を所望に及ぶとヨシ〳〵と許り言下に携へて居た短銃で部下の一コサツクを射殺し其乘馬を取て直ちに提供したと云ふ以て其一斑を窺ふべきである

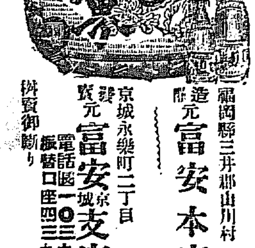
一等（二十名）岡田增右衛門、太田[illegible]、[illegible]次郎、村田正太、小貫[illegible]、植三、岡本兵太郎、曾根原光太郎、松[illegible]、[illegible]、白石多七郎、保田[illegible]、[illegible]三郎、小[illegible]生きみ、同能成、同みさを、同ふみゑ、深町由助、植[illegible]、大野[illegible]、安部[illegible]、[illegible]、玉井[illegible]、其他三等二百七十三名

十日午後入港高麗丸一二等乘客　尾保加一、同富江、高島傳市、同仁、藤太一、同郡夫、片田數一、同縣[illegible]、近藤守藏、朝倉謙三、同孝一、同さお、同康、木村常三、同富三、後堀あい、渡[illegible]

下關期米特電

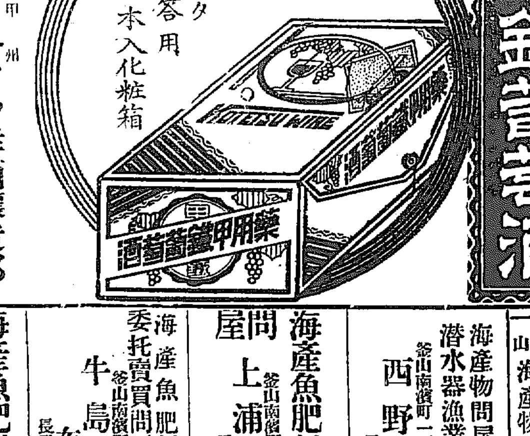
十一日後場　當限　中限　先限

優等清酒



福岡縣三井郡山川村　造元　富安本店
京城永樂町二丁目　發賣元　富安京城支店　電話一〇三九番　振替口座四三九番
樽賣御斷り

古本と古樂器買入　京城本町　電話二五二七　振替二貳二壹　ウツボヤ書店



釀造元　甲州　サドヤ洋酒釀造部
朝鮮總代理店　釜山　福榮商會卸部

藥用　甲鐵葡萄酒

大隈侯主宰　大觀　八月號
平和後の世界
紛糾せる新國境　ドクトル　長瀨鳳輔
國際聯盟と我國防　陸軍中將　佐藤鋼次郎
軍備制限と我海軍　海軍少將　橫山正恭
平和後の海運界　郵船專務　伊東米治郎
戰後の鐵道問題　鐵道院理事　木下淑夫
勞働問題改造基準　法學博士　小林丑三郎
世界經濟界變革　代議士　長嶋隆二
土耳古の歐洲撤退と回教　文學博士　三宅雪嶺
平和克復後の世界の大勢　大隈侯爵
世界の不安　片上伸
四皇帝の末路　島田三郎
引火奴（創作）　上司小劍
支親善（對話）　遠藤吉三郎
馬を殺した少年（創作）　佐々木味津三
鮮內軌轢　（政界のうら）
聖人と蠅（對話）　生方敏郎
板垣伯追憶（座談）　大隈侯
ゼネバ湖の夏　中村萬吉
避暑五題（自畫自讃）　岡本一平
四國三郎上流　大町桂月
支那式外交の價値　稻葉君山
戰線めぐり（ウエルダンよりランスまで）　在巴里　五來素川
夏の畫材を獵る（廿二名の伯畫の實驗手記）
定價三十錢　郵稅一錢半　東京牛込市ケ谷町九三　振替東京四〇九五六番　大觀社

各時計卸商　明治二十八年創立　貴金屬製作卸所　帝國火災保險會社第一代理店　TRADE MARK　京城黃金町二丁目　喜多金光堂　電話一〇一五　振替京城七八二番

▲債券▼　朝鮮總督府認可　公債債券月賦販賣　勸業債券高價買入　營業案內無代進呈　大連市西通二丁目二十二號地　大連債券株式會社　電話長一五二四番　振替大連一三〇〇番

▲債券▼

仁川本町　白神洋行　洋鐵鋼、諸機械　工具附屬品一切

京城南大門外　白神洋行支店

金物商　月刊物價表　御申越次第進呈

平　木　町

流行玩具　袋物　福玩具　食料品　テグス釣具　針釣竿釣具　營業案內を呈す　友近商店　釜山草梁

釜山　海產物商案內

海產物問屋　潛水器漁業　釜山南濱町一丁目　西野商店　電話一三九番

海產魚肥料問屋　釜山南濱町一丁目　上浦商店　電話五八九番

海產魚肥料　委託賣買問屋　釜山南濱町二丁目　牛島商店　布谷嘉七　長電話五七〇番

海產魚肥料問屋　釜山南濱町一丁目　守谷商店　伊藤庄之助　電話三三番

潛水器漁業　罐詰製造業　海產貿易商　委託問屋　釜山南濱町　山中商店　電話七四六番

海產物肥料　委託賣買商　支那貿易　釜山南濱町二丁目　中俊支店　電話長四六七番

…範圍に侵入し戰前の狀態に再ち全世界の二箇年の生産額を凌ぐべく斯くて諸材料の缺乏は我國の生産技術の未だ彼等に及ばざる…

連絡船上陸客 十日午前入港新羅丸一二等乘客人名 [illegible]

西水庫水馬演習 龍山憲兵隊では齋藤大尉指揮の下に去る二日より漢江に於いて水馬演習を實施した、始めの演習にも拘らず非常に好成績を擧げた、是は十一日午後二時優秀な下士計りが競技中を撮影したもの、急流を横ぎる人と馬の勇ましさを見よ

虎列拉が流行しても 注射すれば大丈夫
尠くとも一年間は有効 田中丸病院の實費注射

虎疫患者の發生によつて京城市民は尠からず不安を感じつゝある、幸ひにして未だ患者の續發を見ないが此際可及的に防疫の方法を講じ公衆個人の衛生を嚴にしなければ如何なる結果を招くかも知れない、そこで當局に於いては

全力を擧 げて防疫の法を講じ個人としても亦各人夫々戒に努めて居るが唯飲食物を愼むとか患者に近接しないとか云ふ豫防法では甚だ心細い、然らば如何なる豫防法が一番確實で効果があるかと云へば矢張り虎列拉の豫防液を注射することが第一であり、右に就き

細菌に詳 しい西小門通りの田中丸病院長の語るところに依れば虎列拉の豫防注射液は約四十年前から發明されて居たが最初の注射液はあまりに反應が強くて殆んど我慢が仕切れなかつたほどであるが其後次第に研究が積まれて現在用ひらるゝ注射液は反應が非常に輕く殆ど無いよりも

ずつと樂 であるから老人でも子供でも嫌がるやうなのでない、そして一度注射をせば一年間は有効である、最も此の注射を行つたからと云つて絕對に病毒に侵されないとは云へないが先づ十中の八九分迄は免疫性になると見て差支ないそこで一日も早く注射を施すのが

安全第一 である注射料は一回分五十錢位ださうであるが二回施せば充分の利目がある同病院では此際公衆衛生を保護すると云ふ趣意で實費を以て一般人士の爲めに應じ注射を施して見れるさうである。

過激派東漸す
困るのは我國許り
オムスク政府の援助は世界的の一大案件だ

過激派軍の威力日々猖獗を加へ目下の趨勢ではオムスクに於て喰ひ止め得ずチタ迄の後退を餘儀無くされ貝加爾湖畔の天險に據りて敵を抑止せんとする形勢でコルチヤツク軍はセミヨノフの駐屯せるチタに政府を移すに至るであらう貝加爾湖畔の天險は一夫之に當れば萬夫之を如何ともする能はざる

要害の地 ではあるがオムスク政府が此處まで後退するとせば同政府の價値なるものは殆ど滅殺され僅に極東三州を維持するに過ぎざる貧弱さを示す事になる併し之は兎も角愈々オムスク軍がチタまで後退する事にならば過激派と我が西伯利駐屯軍とは勢ひ

接觸を避け 難き運命に陷る事實廿萬を算する過軍の殺到に對し我が支隊は如何なる態度に出づるか聯合國側の態度が頗る曖昧を極めてゐるだけ我が國の立場は自然の成行に俟つより外に仕方があるまい併し左樣すれば過激派は東漸して邊境を脅威するに至るべく大勢の推移に俟つも樂觀も出來ない然にても

英米兩國 は當初俄迄オムスク政府を援助せんと聲明しながら今更態度を豹變したのは怎う云ふものか英國の如き當初こそ是非レニン政府を討伐せんとの意氣込みであつたが國内に於て同主義感染者が顯はれ討伐の爲の出征を拒絶するに至り政府は討伐に手を燒き米國に於ても同樣の傾向を呈し我が軍の

過激派と 認むる者を過激派と認めず討伐なこと不穩の意志すらない態度でオムスク政府援助に就ての意嚮まで極めて曖昧至極で要するにオ政府の援助問題は目下世界的一大要件となつた譯困るのは我一人とは今更情ない（某消息通談）

學校生徒の服裝は
和洋何れでも 中橋文相の英斷

言文一致奨勵、毛筆廢止或は敎員家族副業奨勵等近頃著しく時代に適應する空氣を注入せんとする中橋文相は今回學生の服裝問題に一大英斷を下すべく近く訓令を發する筈也即ち從來の學校制服は餘りに統一を尙び地方に依りては全く四圍の事情に適せざるものあり之を撤廢して自由に洋服和服何れにても差支なき事とすべしと

要するに自衞が第一
虎疫豫防の最良手段
寒心に堪えぬのは麻浦
龍山憲兵分隊長　矢野大尉談

大正五年 わが朝鮮に虎疫が流行した際我々は頗る苦るしい經驗を嘗めさせられた、最も猖獗を極めたのは仁川で京城にも發生したので自分は龍山には一歩も入れまいと努力した、龍山市民は非常に團結力が強くいざこざなら

官民協力 して事に當ると云ふ美風があるのでさしも猖獗を極めた虎疫も官民の努力で龍山には終に發生せしめなかつた一般の人が進んで自衞の道を講じた結果斯うした好成績を擧げたのである自分の管内だけ麻浦だけ虎疫の發生を見百五六十名の患者を出した

死亡率は 其の半數もあつたらう。誰しも朝鮮人は虎列拉と云へば非常に恐ろしがるので周到なる注意を拂ふが流行の際中他地方にけ出されたのには大いに弱らせられた今回も與論を見ない中町總代學校長とも協議し虎疫侵入防止に努力仕度いと思つてゐる、虎列拉でも赤痢でも黑死病でも官民協力

自衞の道 さへ講ずれば決して蔓延するものでないと信ずる、麻浦は今も水道の設備が無いから若し一朝發生したら流行を極めやしなからうかと誠に心配に堪へない目下注意を與へてゐる最中である云々

避暑地投票
第二十回發表

千二百四十六票	水安堡	百六票	冠嶽山
千百七十二票	元山	七十六票	俗離山
千百七十一票	釋王寺	六十九票	寧邊
千四十一票	馬山	五十五票	內藏山
六百十三票	釜山	五十三票	扶餘
五百七票	仁川	五十二票	金剛山
四百九十五票	儒城		溫陽
四百十票	海雲臺		
三百七十五票	黃海正方山		
三百六十八票	水原		

（五十票以下）裡里、統營、釣山、劒拂浪、公州、光州、木浦、平壤、逍遙山、九味浦、夢金浦、密陽、松島、南原、清津、全州、開城、慶北周王山、淸道、藥水灘、益山、城、摩天山、平康、古群山、七寶山、郡五山里公園、雞龍山、井邑、城北朱乙

桃ちやんの死（上）
佐賀興行中　松旭齋天勝

〇〇さん　貴君にお別れしてから久しい事になります、只今九州巡業中で、鹿兒島から順に佐賀へ入りました、お蔭樣で到る處大入滿員續きであります、貴君は私の愛兒桃ちやんを御存じでせうあの桃ちやんは御承知の通り私が數年間孰れの巡業先でも手許から離した事のない可愛らしい桃色鸚鵡です

〇〇さん　私は貴君に悲しい物語をしなければなりません、それは桃ちやんの死と謂ふ私にとつては大事件な悲しい物語です恰度私の一座が人吉興行中の事です、私は球磨川の碧流と其の川で捕れる名物の鮎にあこがれて、川に沿ふた風通しのよい涼しい旅館に陣取りました

旅に出て、殊に夏向き涼しい座敷に通されるほど快感をそゝるものはございません、私が球磨川に見惚れてゐるうちに傍に置いてあつた、金網の鳥籠から、何時の間にか桃ちやんが出て來て、欄干に停つて私と並びながら、嬉しさうに咽喉を鳴らして、私がするやうに球磨川を眺めながら、涼しい川風に胸の和毛をなぶらせてゐるのです

私は桃ちやんが、この凄い程怖ろしい激流目がけて投身一飛起たうとは夢にも思ひませんでした、そこは鳥類のあさましさです。自分の利翼を切られてゐる事も氣がつかずウカ〳〵と飛んで仕舞つたのです『あれッ、桃ちやんが』

不覺叫んだ聲に、小天勝初め一座の小娘達は慌いて駈よつて來ました

見る〳〵桃ちやんは激流に流されて行きます、私は狂氣のやうになつて跣足のまゝ其の後を追うて行くと、『桃ちやん』『お母さん』と流されながらも懸命に私の名を呼んで居ます、私の後から同じやうに跣足で從いてくる小天勝に『何故飛込んで行かないのか』と可愛さうに泳ぎもしらない少女にまで夢中で謂つてゐると云ふ始末です

私は懸賞を出して逢うく鈴辨の首ちや有りませんが船頭の手で可哀想な桃ちやんの屍體を搜索させると云ふ騷ぎです、私は桃ちやんの屍體を手にした時不覺頬摺りしながら心の限り泣きました

崔用善は經過良好
大正五年の虎疫と京城

京城府廳の越川衛生主任は語る崔用善は其經過が良好で生命は取止めるであらう然し大分各所を御觀察してゐるので、一を避るか目下市内防疫に努めてゐる大正五年虎疫發生の際京城府に於ける患者總數は九十七名で内順化院に收容したるもの七十二名眞正患者が三十四名保存者が三十八名であつた

虎疫に非ず
迷惑した連絡船

十日夕下關入港の關釜聯絡船博愛丸は虎疫患者乘船し居れりとの嫌疑にて彦島沖に假泊を命ぜられ乘客全部に對し檢便を行ひし結果異狀無きを以て十一日解禁せられ入港したり（下關電報）

注射液の供給

總督府醫院にては今回總督府醫院研究科に於て虎列拉豫防注射液を製造し一般に對しては實費を以て之が需に應ずる由なれば必要の方は同醫院に申込まれたしと

お隣の虎疫に
仁川の警戒

京城府に發生したる眞性虎列拉に安養に下車せる旅客の當病者は愈々朝鮮を經て滿洲の虎疫侵入の經路に當る仁川は從々防疫を嚴重にして警戒怠りなし、殊に發生せる虎疫は其の經路判明し全く春大より移入せるものならば嘸らかなる事實なるを以て仁川にては驛の乘降客に一層の注意を施すと共に列車乘務員との連絡を執り列車中に於ける乘客の健康に注意を拂ふ事とせり一方市内に在りては各戶調査を行ひて或ひは注意を與へ或は疑はしき病者の早期發見に努むる等防疫に充分の手段を講じつゝあり（仁川）

町惣代招集

虎列拉豫防注射に就いて府では十二日午前十時より内地人町總代を府廳に招集し虎疫豫防に關し一般の指示と打合せを爲す筈

高商軍の雪辱戰
主將四組の勁敵を屠る
對全京城第二回庭球戰

朝鮮體育協會主催の東京高商對全京城の庭球試合第二回戰は十一日午後二時半より明治町三井物産コートで擧行された高商軍は遠征の勞れか十日の第一回戰では滿洲を倒し盡した高商軍に取つて京城に於ける蹉跌は遺憾此上もないので高商戰士の面には悲痛の色があつた京城軍は十日の勝利に一層兜の緖を締め陣容を改めて更に確實な捷利を得ようとした。正午を過ぎる頃最う觀衆が詰めかけた、一時過ぎであつたが直猛烈な練習が開始された觀衆は十日にも增して人山を築き森安博士其他の好球家連が天幕に溢れてゐた。午後二時雨軍主將がメンバーの交換をやつて二時卅分大出氏プレーの一聲で此決戰の序幕に入つた兩軍の戰蹟左の如し

高商軍		京城軍
○小野延	三―二	中川內藤
◎小野延	三―〇	奧田若泉
高橋竹澤	一―三	諸岡大前
岩崎佐藤	〇―三	諸岡大前◎
松根扇山	二―三	池原立見○
北川淺野	一―三	池原立見◎
大山松本	〇―三	矢野井田○
○久保長谷川	三―〇	矢野井田
◎久保長谷川	三―〇	高平永山
小野延	二―三	岡部森○
久保長谷川	三―〇	岡部森
久保長谷川	三―二	諸岡大前
久保長谷川	三―一	池原立見

試合の經過

▲小野組對中川組　中川組サーブ延當らずミス多い上に敵の後ヘ中川に窺はれたので力戰したが形勢を挽回してゲームニ對ム…

▲小野組對奧田組　後衛奧田は頭のよいが練習不足からアウトが多かつた若泉も當つて後衛でよく打つたが遂に一ゲームを得る方ではなく遂に一ゲームをも取る事が出來なかつた

▲高橋組對諸岡組　諸岡よく打つて大前も當りがよいので高橋組は一ゲームを得たのみで脆くも敗れ

▲岩崎組對諸岡組　諸岡組の前衛も當つてゐたので岩崎組は一ゲームも取られて了つた後衛岩崎のミスが多く遂に高商軍は敗れた

▲松根組對池原組　松根扇山當らず一ゲームを與へ更に氣を換へて陣を立て直し一擧二ゲームを取つて轟々と攻寄せたので池原組は盛返して遂に松根組敗けてしまつたのは頗る殘念であつた

▲北川組對池原組　北川昨日の如く力が入つて居ない淺野の當りも好くなかつたので一ゲームを得たのは當日第一の大手柄であつた

▲大山組對矢野組　矢野井田組は大山組が乘つてゐるので一擧の下に零敗させられてしまつた

▲久保組對矢野組　高商軍は主將久保長谷川組の出馬になつた京城軍は矢野組ご岡部組をか破り勢を挽回へすことならねばならぬので主將長谷川久保は胸に成算あるもの如く陣頭に立つて何の苦もなく一ゲームは取つた續けて攻め立て美事矢野組に零敗を喫せしめたのは心強かつた

▲久保組對高平組　高平組は飽氣なく零敗して久保の強味と長谷川の確さを裏書するのみであつた

▲小野組對岡部組　岡部の頭のレシーブ猛球で突いてネットに出て來てストップ、ボレーは見物に大受けであつた忽ち一ゲームは岡部組の勝となつたが前衛延猛烈に當り出して續いて二ゲームを勝つた莽然と起つた岡部の凄いサーブは敵を委縮させ遂に三對二で岡部組の勝に立派であつた

▲久保組對岡部組　兩軍主將の顏合せである兩軍とも胸に成算のあるが如く完備として當つてるに立つた高商長谷川は當つてるが京城の前衛森は當つてるないる後衛は京城軍岡部に七分の勝味はあるが果して如何、高商軍のサーブ第一球は長谷川のボレーがアウトであつた長谷川よく打つたがミスが多く第一のゲームから接戰してデユースを繰返し緊張した試合振りであつたが先づ高商軍一ゲームを取る次のゲームも京城軍の敗續いて次も取れ長備せし…

各地最高溫度
十一日午後二時測定

前津	八十六度
木浦	九十五度晴天風稍強し
群山	九十一度八
大田	九十一度三分風無く暑し
馬山	八十九度北の風强し
大邱	九十二度晴天蒸暑し
淸州	九十四度快晴雨を待つ
春川	九十三度東南の微風晴
咸興	九十七度七分
釜山	八十七度三分南東の風
	蒸暑し

大持ての病院列車
患者殺到す

門司鐵道管理局にては社會政策の一として實行する事となりし巡廻列車病院は八日より開始し當日は午前七時十分門司驛發佐伯行き列車の後部に患者待合車と病院車の二臺を連結し待合車は二等車を病院車は藤田局長時代の局長專用列車を改造したるものにて治療具一切を備へ洗面所を藥局として富田病院長以下が乘先づ小倉驛にて四時間停車治療を開始したるが來患者百名に達し大多忙を極めたり藥價は三錢より十錢と云ふ安價にて好景氣なり（門司）

信濃丸抑留
門司港にて

十日朝門司入港せる信濃丸は虎疫輸入防止の爲め九日より入港船の停泊を命ずる事となりたる爲同船も二晝夜停船を命ぜられ取扱ひ三百七人乘込めり（下關特電）

高商軍の捷利

十日の第一回戰に敗北した一橋高商健兒は十一日の第二回戰で雪辱した主將久保長谷川に四勁敵々居り虹の如き一橋健兒の意氣を見せた敗たこはいへ京城軍の善戰は賞讃に値するフレフレ高商!!!フレ、フレ京城!!!兩軍は互に敵の萬歳を三唱して體育協會の野宴に臨んだ

○**高商團仁川行**　東京高商庭球團一行は十二日午前中は昌德宮拜觀其の他各所見物をなし午後三時三十分發列車にて仁川に赴き同夜歸城十三日午前十時發急行列車にて南行歸東する豫定なり

○**有望なるツルチユツク酒**　目下計畫中なるツルチユツク酒釀造事業につき小原農商工部長官は曰く長官としての意見は表明の限りにあらざるも個人として四圍の事情を綜合し考察する處によれば原料の豐富同果實の利用方法又販賣其宜しきを得ば新に於ける特種產物として素質を具備せしものと思料す

十一日　東株　前場大引　一六三、〇〇　前場寄付　一六〇、〇〇　後場大引　一八三、〇〇
東新　一五九〇〇〇　上取　堂米
正米　安値　元三…　止め　三八五　三七五

理想の萬年ペン
ウオーターマン　新荷着
セエフチー萬年ペン　四十二號　六圓五十錢　七百四十二號　八圓五十錢
安全萬年ペン　十八金卷
萬年ペンカタログ申込次第進呈
京城本町　篠崎文具店

大野達郎著
敬虔にして痛ましき悲戀の記錄
愛より祈りへ
△菊半截形二百頁ポイント活字美本▽
△定價金九拾五錢　送料拾貳錢▽
愛と理解を缺ける結婚生活に堪え悶を味ひ、孤獨の寂しさを抱いて風荒き日本海岸の某女學校に去つた彼女は、其處に奇蹟の如き一脈の光に觸れた、彼女の魂は永遠に定められた彼の愛に中泉より見出しました、それはた彼の心に結ばれた一切の祝福を辿りて如何に美しき咒ひを受けた恋と裁ちロツテとウエルテル、斯くて二人が奏でた哀調の悲しきを繰返し、戀の記念碑は敬虔なる悲戀の讚歌につかくも和せよ若人よ
東京市神田區表神保町一番地
止善堂書店
（電話神田一九〇九●振替東京三六三二）

TAKA-DIASTASE
高峰博士發見
タカヂアスターゼ
本品は本邦人に最多數を占むる澱粉不消化に因する胃腸障害に必要缺くべからざる新藥として多數の醫學者臨床家に依り確認賞用せられつゝあり。
本劑は從來米國にて製造したるものを輸入せしも前年より本會社品川工場にて製造し純國產品となれり。類似模造品は時日經過と共に效力減却するを普通とす、我タカヂアスターゼは效力永久不變なり。
內外醫學者の實驗報告書無代贈呈す。
東京室町
三共株式會社

地獄で佛
たまらぬ齒痛
いまなをるはぐすり
今治水
島村醫學博士有効證明の今治水は如何なる齒痛にてもスグ偉效を奏する理想的良劑なり
主效
■むし齒の疼痛、■齒の根の疼痛、■はぐしの痛、■神經、肩の凝、逆上より來る齒の痛、■過熱、過冷、飲食物より起る其他一切の齒痛。
ヒンセワト　全國藥店にあり
小瓶 十錢　中瓶 廿錢　大瓶 卅錢
大阪・東京　本舖 丹平商會

みだれ咲き

第百十五回 島田碧波作 森田久畫

山中子爵の夫人艶子が、自分の座敷に氣を配りながら、櫻子の在り氣の一語を洩すと、夫れを歎して首肯いたお蓮は、相手の心の奥に蟠まつて居る野望は疾うの昔に看破して居るから。

『奥様、私のやうな者でも貴女様のお力になれるならごんなお頼みでも致しますわ』と、答へて何ほも言葉を重ね。

『然し奥様、報酬は出して下さるのでせうね』

妖婦は相手が然りと答へるのを知りながら、殊更に念を押した。

『蓮子さん、幾ら私が野暮な堅氣でも其の位のことは知つて居るから安心して頂戴！…』

『ホヽヽ、ごうも相濟みません夫れでは私や良人の身に叶ひますことなら屹とお引受け申しませう』

一寸衣紋を作つた蓮子は相手がごんなことを云ひ出すかと多少の心配はあつた。

『實は……』

ヂリヽヽと寄り添つた艶子はお蓮の耳許へ口を寄せ何かヒソヒソと囁くと。

『あらお孃様が……』

こんな事を云はれたのか、お蓮は大きな聲を出して艶子の面を見遣つた。

『あら大きな聲だわね』

艶子夫人は兩手を出してお蓮を制した、と同時に座敷の入口へ出てお蓮が大きく叫んだ一語を聽いた者が無いかと調べて見た。

『ホヽヽヽ』

お蓮は艶子夫人から制止を受けると慌てゝ饒笑に打ち消し。

『さうすると、お二人ともお邸には居らつしやら無いのね』

『さうだわ……』

『でも若様は少しもそんなことを云つて居ませんでしたよ』

さうやらお蓮は子爵夫人の言葉を信じて居無いやうであつた。

『さうだらうとも、タッタ今電報が入つたばかりなんだもの』

『おや左様ですか、さうしてお一人で家出をしたのですか』

お蓮は慾に轉んで子爵夫人の手先にならうとするのであるから此の場合何から何まで話して遣らうとした。

『處が妙なんだわ』と、云つて再び聲を潜めた夫人は。

『丸でお半長右衛門と同じやうに今年五十五になるお爺さんと駆落をしたのよ』

『あらお爺さんと操子さんが駆落ちをなさつたのですか』

お蓮は龍雄の告白に依つて彼の姉弟には、廣い邸の内に唯つた一人牧野と呼ぶ自働車運轉手の味方がある事を知つて居た、從つて令孃の家出と聽くと必ず其の運轉手と共に邸を脱け出したのであらうと思つたのに、事實は意外にも祖父のやうな老人と共に家出をしたと聽き、暫し呆氣に取られて二の句が出なかつた。

『さうなんだわ、然も其の爺さんは夜番をして居る佐藤次郎吉と云ふ男なのさ』

『わッ佐藤次郎吉ッ』

夫と聽くとお蓮はサッと顔の色を變へた。何故かお蓮は佐藤次郎吉と聽いて美しい面が土のやうに蒼くなつた。

『あら貴女は佐藤次郎吉と云ふ男に何か心當りがあるの？』

相手の驚きやうが激しいので艶子夫人も怪訝に思つた。

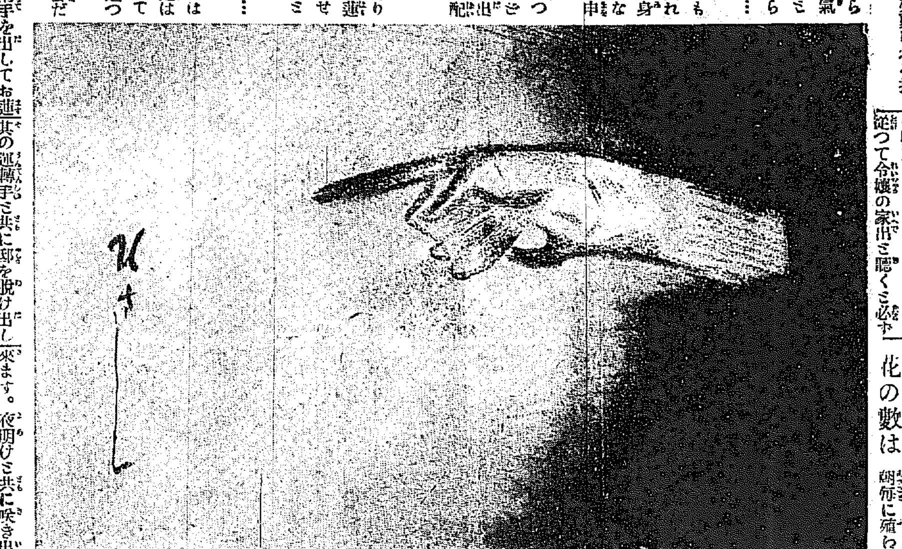
『別に何でもありません』

お蓮は何こ無くドキアギして居たが。

『兎に角お頼みのことは屹ご旨くやりますからごうぞ多少の運動費をお出し下さい』

『あゝいゝわ、夫では直に上げて今頼んだ通りにして下さいね』

今や艶子夫人はお蓮に對して主從のやうな態度で命令を下すのであつた、知らず艶子夫人は妖婦に對してごんな事を頼んだのであらう。



朝顔の花 女子供の慰み

咲き殖ゆる

亘根に蔓を巻き付けて、赤に白に紫に、明けの明星の影の薄れる頃朝露受けて咲き出づる朝顔の花の數は朝毎に殖ゑて來ます。夜明けと共に咲き出で、太陽が三竿に高い頃には花の生命はもうありません、それでも潔く咲き出づる朝顔は可憐な花ではありませんか、人の目を悦ばせた頃子供のある家では飯事の材料としてその花莖から摘み取られます、漏斗狀のその花は青、赤、白と瓶に重ねられて、花瓣を

水に浸して 出る液を染料として弄ばれ、又花瓣が薄い處から押し花にしても早く出來上るので、これもよい慰みです然し幼兒は時に美しい色のその花瓣を口にすることがありますがこれは注意して弄ぶのみにさせぬといけません。その粘液は毒を含みますから、漏斗狀の中央にある雌蕋、周圍の雄蕋其れ等を保護する美しい花瓣、子房は五室に別れて、一室に

大抵二個 の種子を生ずるなど、著々ご造花の作用を見せます、夕べ毎に筆の穂の樣な其の蕾は青い蔓に護られて明朝咲く花の數を數へて居ます。夜露朝露には元氣よく、日中は萎れても栽培する人の丹精に依つて、水を灌がれると蘇へつて美しい葉色を見せます、暑くても捨て・置かれぬ所に朝顔作りの苦心もあつて、怠惰勝ちになる人の心に一つの規律も與へます、そして其水を灌ぐことなどは婦人か子供に相應はしい仕事です

タオル
諸戸タオル滿峰 一手販賣
卸商 京城若草町四〇 上月商店
電話一〇三五番 振替京城五三三一番

我等の俳句

○ 浮碧樓

白絣を著たわがみ父の梟前に立ちつくされず

カンナの花が折れたこの夜みだらに澆るか

向日葵の留守のやうにも覺わず來た

○ 芹郎

僅かにも紫蘇濃き周圍に雨の落ちてくれける

青葉一枚二枚散る朝は掃いて家を出て行く

紫蘇刈らんに紫蘇の一枚をちぎりし一人

○ 山奥水

つぎ〳〵穂草折棄てゝは心もこなく歩む

君達別々の話の一つ皿の水菓子のありたけ

秋めく夜の暗く犬が首もたげた

○ 鳥堂

虫がなく夜の明るさの人群

子ら水泳著など土夜は賑たり

木影葉影こま〳〵と土に銘すぎ

日八、八、一〇、五の日十の日會日〇當分五の日、十の日とも鳥堂居へ會の來こと

日報歌壇

紫陽花

□ 鈴蘭(京城)

はるかなる砂丘のかげん人影の動くが見ゆれ月の明りに

此丘のかげに見ゆるは君ならむ我もごかしく砂握りけり

此小さき胸は高鳴る砂浜の遙かに君の急ぎ來る見ゆ

今し此のさゆれ淋しき蠟燭の消ゆなむとして君のしぬばゆ

たまゆらに君の浮びぬこの暗き室の机の蠟燭ゆらぐ

□ みゆめ(新義)

雨雲の低く重なる日の午後の心のいらに君の文來ず

君來ずや海邊の宿に唯一人病むと悲しき消息の來ぬ

うるみたる君の瞳孔に語られ悲しみ抱き遠く我れ行く

□ 綠愁人(京城)

久にして泳ぎ見ばやと漢江に浸ればみの冷たかりける

危くも溺れたとして土つかむ刹那の我の心かなしも

眞陽向に光れる水よいさゝかの汚れもなき心悩ずも

岡の上の並木ポプラの黑き影に淋しく咲ける藪萱の花

□ 廣田修(京城)

江に臨むだら〳〵坂の君がくり書の夢見る漂顔の花

ねむたさにたへては居れご夏雲のいてり難きわびしくは見つ

たゞこまる心こらいて忍びかにまもる水面の揺の細かさ

又ひとり草を分け來て向つ岸の柳の下に謐置れにけり

向つ岸の柳の下にうづくまり男はしまし物も云はざり

いつとなく向ふの人と云ひ交す川波光る夜のしゞまに

城壁に立ちて笛ふく人のあり揺るゝこともなく揺るゝ樹々の葉

近寄ればふさみ返りて物も云はず呼び笛を吹き續けけり

笛の音止みしさもへば木蔭より人近づきて火を貸せと云ふ

煙草の火風に揺ひてつけあへぬ涼しもこみひたりにけり

美しきはした女ゐると入りし茶屋の東で見て淋し卓の紫陽花

しばしもと入りし茶店のはした女は夜も更けたれば何も無しと云ふ

讀者の領分

▲近頃引越荷物中より在中の物品を竊取するものありて往々多大の迷惑を掛くるのみならず不安此上なき次第にて其多くは外箱を破壞し捆細を緩るめある所から内部に手を挿入して在中品を取り出し竊取するやうなり(被害者)▲當局に石灰を撒きたく思つて心當りを問ひ合はせたけれご賣つて居る店がありません、あるかと思へば一俵でなくては賣らぬなど申します市の衛生から考へてもこんなものは各個人に必要なだけ賣つてやるのが當然ぢやないかと思ひます(若澤生)▲近頃南大門外方面の商店さへ見れば飛び込みて禁言はさらす精神病者有り近隣は云ふに及ばず附近一帶の迷惑一方ならずよろしく家庭の保護及び其の筋の取締りを願ふ(迷惑生)▲南山町二丁目に大料理店を建設すべく數多の小住家を取拂ひ地均し中であるが本願寺へ三十餘間高等女學校へ四十餘間を隔つる所なり(風敎道人)▲現の證據(ゲンノショウコ)草取引致したし京城藥業家の本名住所を御示し願度候(釜山の者)▲先年發布せられたる文官普通試驗令の四條に『普通試驗は中學校の科目中五科目以上に就き中學校卒業程度に於て行ふ』云々とありますが當地に於ては該試驗令を準用して居るのでせうか然らば英語代數等もある可き筈ですがそんな氣配もないやうです英語等(若しあるとすれば)は何時頃から試驗科目に入るべき又は全々永久に科目中に入らないでせうか、總督府試驗委員長(委員)の御答へを願ます(義州通獨學生總代)▲龍山鐵道グラウンド前の梅谷様野球見物の際は御心切なる雨宿りさして頂きました段は紙上を拜借して厚く御禮申上ます(四人の中の一人)▲朝鮮總督府官報及び官報(內地の發行)を一般公衆に見せて下さる處はありますまいか(西大門無學生)

織物取締

[illegible]の件大正七年末に於いては二億[illegible]を必要とし今般九日官報を以て綾、縮布、綿小倉織、綿眞田、綿毛布[illegible]の目的を以て輸出することを得[illegible]既製品たる[illegible]閱覽又は[illegible]られたるものにて三府十六縣に[illegible]檢査を實施すべき[illegible]二日より府縣會、臨時總會及[illegible]を以て之に關する決議をなす[illegible]を逸することは次期の總會迄加入するを得ざる筈である[illegible]に入港の哈爾賓丸に虎列拉[illegible]

處方明記

內容を公示し責任を明かにせる本邦唯一の

◎ミツワ家庭藥(みつわかていやく)

一、處方を明記し內容を明かにす

如何なる藥品を如何なる分量で調合してあるか分らず、隨つて責任を明かにせぬ賣藥は、如何程効能を吹立てゝも決して安心して用ひられない、然るにミツワ家庭藥は其の處方を容器にも說明書にも明記して、內容の藥品の名稱と分量とを公示し、且說明書には其の奏効する理由を明瞭に說き、責任を明かにしてあるから安心して用ひられる、此の處方を公開する方法は本邦には未だ曾て無いことで、實にミツワ家庭藥を以て嚆矢とする、さりとて是さへあれば決して醫療を受けるに及ばぬと云ふが如き誇大廣告的の賣藥では無い、要するにミツワ家庭藥は現代智識階級の要求に應ずる唯一の治療補助機關である

一、處方的確にして奏効顯著なり

同一の疾病に對しても處方は種々あるが、處方が的確でなければ能く良効を奏する理が無い、然るにミツワ家庭藥の處方は何れも斯道の專門家が現今學理上から考へても亦實驗上から觀ても最も好適と認めたる處方であるから、其の効驗の偉大なることは言ふまでもなく、而も日常起り易き種々の疾病に汎く應用されるやう、慎重に取捨へてあるから、家庭藥として是程行屆いたものは他に類が無い

一、製劑精確にして効力一定不變也

如何に純良の藥品を調合しても、其の製劑の方法が精確でなければ、藥品の性質が變化して効力の一定せぬことがある。然るにミツワ家庭藥は其製劑に最も嚴密に注意し、數名の監督の下に、精確嚴密に調劑するのであるから、責任なき製劑とは其の趣を異にし、製劑上の錯誤に因る憂ひは絶えて無く、其の効力は常に一定して居て、或は効き一向効かないといふやうな不安心のことが無い

一、藥品純良にして中毒の危險なし

名稱の同じ藥品でも上下の等級があつて、上等純良のものは効力が強く、而も嘔吐其他中毒作用が無い、然し下等不純のものは効力が弱く往々中毒の危險を伴ふ、又多くの藥品中には元來作用の劇烈なものもあるが、家庭藥に此の如き劇烈な藥や不純の藥品を用ふると、較もすれば過失を生じ甚だ危險である、然るにミツワ家庭藥は純良で性質の劇烈ならぬ藥品を用ひてあるから、卓効があつて毫も危險が無い

一、容器完全にして變質の憂なし

縱令處方が的確、製劑が精確、藥品が純良であつても紙包にして置くと、藥劑は風化潮解して變質し、効力を失ふことになる、然るにミツワ家庭藥は容器に細心の用意をして何れも完全にしてあるから、其の中の藥劑が濕氣を引いて溶解したりすることが無い、それで何時までも其の効力を保持して寒暑の季節に於ても熱帶地方に在つても、其の中の藥劑が變敗する事がない、それと同時に外出や旅行のとき携帶するのに至極便利である

一、內服藥は錠劑にして服用し易し

總て藥劑には用ふる分量が定まつて居て、これよりも少ければ効驗が無く、又多過ぎれば危險がある、然るにミツワ家庭藥の中內服藥は總て錠劑に製してあつて、服用者の年齡に依り一回に用ふる錠數が定めてあるから、天秤で量る手數も無く、目分量で服むやうな不確實のこともなく、苦い辛いとか服ふべき味も毫も感ぜず服めるので小兒にも用ひ易く、煎じて服むやうな面倒も無く、又場合によつて湯や水が無くても嚥み込むことが出來て甚だ簡便である

一、價格低廉にして永く保存に耐ふ

ミツワ家庭藥は數日乃至數十日分が一罐に入れてあるから、一罐の値段は稍高いやうに思はれても、一回分と計算すれば決して高くはない、何人でも其の公開してある處方に依て調劑したなら、恐らく其の定價よりも以上の價になるであらう。而して一二回用ひ其の殘藥を保存して置けば、如何に永く月日が經ても性質も効力も變ることが無いから何時でも用ひられ、畢竟頗る經濟的の藥劑である、堅く疾してから又疾病に罹つてから藥を求めるのでは到底間に合はず、不慮の禍を招くことがあるが、斯く保存に耐ふるミツワ家庭藥を平生必ず備へ置き旅行の際にも携帶して早速之を用ふるに限る

ミツワ家庭藥の種類と定價(內地以外は關稅運賃を加ふ)

品名	適應	容量	定價
ミツワ健胃錠	胃加答兒・胃酸過多・嘔吐胃痛等	卅錠入・百錠入・三百錠入	拾錢・貳拾錢・五拾錢
ミツワ消化錠	總て消化を促すべき場合に用ふ	卅錠入・百廿錠入・三五〇錠	拾五錢・五拾錢・壹圓卅錢
ミツワ制酸錠	酒の過飲・惡醉・宿醉・惡心・嘔吐	百五十錠入	貳拾錢
ミツワ緩下錠	諸病に因る便祕殊に常習便祕症	四十錠・百廿錠・三五〇錠	拾錢・貳拾錢・五拾錢
ミツワ止瀉錠	急性傳染病以外諸種の下痢	廿五錠・六十錠	貳拾錢・四拾錢
ミツワ解毒錠	腸胃を防腐し腸胃病を豫防す	卅錠入・七十錠	貳拾錢・四拾錢
ミツワ驅蟲錠	蛔蟲等腸內寄生蟲驅除及豫防	廿五錠・六十錠	貳拾錢・四十錢
ミツワ清涼劑	口中清涼・神身興奮・口中病豫防	紙盒入・壜入	拾錢・參拾錢
ミツワ解熱錠	感冒・レウマチス・神經痛等	卅錠入・百錠入・三百錠入	貳拾五錢・七拾錢・貳圓
ミツワ袪痰錠	氣管枝炎等呼吸器病一切の袪痰	卅錠入・百錠入	拾五錢・四拾錢
ミツワ鎮咳錠	百日咳・喘息・呼吸器病一切鎮咳	百錠入	一圓五十錢
ミツワ結核錠	結核性の諸症・肋膜炎・腹膜炎	百錠入	貳圓
ミツワ人參錠	神經衰弱・腎臟炎・精力減退等	百錠入・五百錠	五拾錢・貳圓
ミツワ複方人參錠	動脈硬化・腦溢血・心臟病等	百錠入・五百錠	七拾錢・參圓
ミツワ鎮靜錠	頭痛・不眠・癲癇等の如き神經病	百錠入	壹圓廿錢
ミツワ婦人湯藥	婦人生殖器病・貧血・所謂血の道	八十錠入	五拾錢
ミツワ婦人座藥	白帶下・子宮內外膜炎・膣炎等	六個入	五拾錢
ミツワ治淋藥	淋疾・膀胱加答兒・尿道加答兒等	カプセル五十入	一圓五十錢
ミツワ淋病洗滌藥	淋毒性尿道炎一般に用ひらる	洗滌器附壜入	五拾錢
ミツワ點眼液	總て眼瞼及び眼球の結膜の諸病	點眼器附壜入	拾五錢
ミツワ鼻病液	鼻加答兒・鼻充血・臭鼻症衂血等	壜入	參拾錢
ミツワ齒痛液	齲齒其他一切の齒痛に用ひらる	壜入	貳拾錢
ミツワ含嗽錠	咽頭炎及び口中一切の病の洗藥	百五十錠入	參拾錢
ミツワ硼酸錠	眼病・婦人生殖器病の消炎防腐	百五十錠入	貳拾五錢
ミツワ鎮痛液	打撲傷・神經痛・レウマチス等	壜入	四拾錢
ミツワ殺蟲液	蟻蚊等總て蟲に螫されたる場合	壜入	貳拾錢
ミツワ養毛液	脱毛雲脂多過を防ぐに用ひらる	壜入	五拾錢
ミツワ腋臭藥	腋臭・會陰臭・手汗・足汗等	壜入	參拾錢
ミツワ撒布藥	汗疹・多汗症・表皮剝脫皮膚糜爛	紙盒入・大盒入	拾錢・貳拾錢
ミツワ泥膏	火傷・濕疹・毛蝨・擦過傷等	硝子器入	拾錢
ミツワ制痒膏	濕疹・皮膚瘙痒症・火傷・汗疹等	硝子器入	貳拾錢
ミツワ痤瘡膏	痤瘡・酒査鼻・毛瘡・白癬・疥癬等	硝子器入	貳拾錢
ミツワ頑癬膏	頑癬殊に陰囊癬・白癬・濕疹等	硝子器入	貳拾錢
ミツワ凍瘡藥	凍瘡・皮膚龜裂・皮膚皸裂・水蟲	硝子器入	貳拾錢
ミツワ痔坐藥	痔核・痔瘻・肛門裂痔等痔一切	六個入	四拾錢

醫學士 小山田讓編 家庭治療法 四六版本文二百三十頁
本書は疾病の原因や症狀などを平易に說き、家庭にて施し得る療法を丁寧に敎へたもので、醫師にかゝるまでの親切な相談相手である。定價金五十錢 但金卅五錢(郵券代用不苦)を添へ申込あれば一冊送呈す。

ミツワ石鹸 ミツワ規那鐵葡萄酒
ミツワ椿油 肝油ドロップス
ミツワ家庭藥 御園化粧品
ミツワ人參葡萄酒
發賣元
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
登錄商號 ◎ 丸見屋商店
電信略號◎ミヤ 振替口座東京七一〇番
營業部電特長 浪花三〇・四四八・四四九・四五〇

片山內科醫院
京城太平町二丁目七十三(太平町大通り)
入院隨意
片山信夫
電話一九五一

優等清酒

京城永樂町二丁目 本莊酒店 電話六五四番
仁川京町 本莊支店 電話二二六番
安東縣大和橋通 本莊支店 電話一一七番

產科 婦人科
二宮醫院
京城壽町 電話一二〇三番
醫學士 二宮亮吉

優美堅牢眞に履具合良き
代理部の靴

	甲	乙	丙
ボツクス	十一圓五十錢	十圓五十錢	九圓五十錢
キツト皮	十六圓五十錢	十五圓五十錢	十四圓五十錢

白ズック短靴 七圓五十錢

編上及深ゴム同ネダン短靴は一圓下り
地方よりの御注文は御一報次第寸法取り圖解御送附可仕
尚既製品御入用の場合は靴種類足袋の紋數其他詳細御通知願上候

京城日報社代理部 振京城三百番

宮內省御用達

千葉縣銚子港 銚子醬油株式會社釀造
代理店 京城明治町二丁目
發賣元 櫻正宗 山邑京城支店
電話長八四九番・一四五四番 振替貯金口座京城七五番

朝鮮銀行

資本金 金四千萬圓
拂込濟資本金 金參千萬圓
積立金 金四百貳拾壹萬八千圓
總裁 美濃部俊吉
朝鮮京城南大門通 振替貯金口座京城三三三番

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀ノ賣買其他一般銀行業務並朝鮮滿洲及浦潮斯德ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候

支店出張所及派出所
內地〔東京 大阪 神戶 下關
朝鮮〔釜山 大邱 仁川 平壤 鎭南浦 元山 群山 木浦 羅南 會寧
滿洲〔大連 旅順 營口 遼陽 奉天 奉天新市街 鐵嶺 開原 四平街 鄭家屯 長春 吉林 安東縣 龍井村 哈爾賓 傅家甸 齊々哈爾 滿洲里
支那〔上海 青島 天津 濟南
浦潮斯德(松田銀行部)
(貨幣交換所) ブラゴウエシチエンスク ハバロフスク 齊多

右ノ外倫敦、紐育、巴里其ノ他內外樞要ノ地ニ爲替取引先有之候